

**【表紙】**

<b>【提出書類】</b>	有価証券届出書の訂正届出書
<b>【提出先】</b>	関東財務局長殿
<b>【提出日】</b>	平成22年12月21日提出
<b>【発行者名】</b>	野村アセットマネジメント株式会社
<b>【代表者の役職氏名】</b>	執行役社長 吉川 淳
<b>【本店の所在の場所】</b>	東京都中央区日本橋一丁目12番1号
<b>【事務連絡者氏名】</b>	松井 秀仁 連絡場所 東京都中央区日本橋一丁目12番1号
<b>【電話番号】</b>	03-3241-9511
<b>【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】</b>	マイバランス30(確定拠出年金向け)
<b>【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】</b>	継続募集額(平成22年6月24日から平成23年6月22日まで) 5,000億円を上限とします。 *なお、継続申込期間(以下「申込期間」といいます。)は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
<b>【縦覧に供する場所】</b>	該当事項はありません。

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、半期報告書を提出いたしましたので、平成22年6月23日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を新たな情報により訂正するため、また「第二部 ファンド情報」、「第三部 ファンドの詳細情報」および「第四部 特別情報」に訂正事項がありますのでこれを訂正するため、本訂正届出書を提出するものです。

## 2【訂正の内容】

### 第二部【ファンド情報】

#### 第1【ファンドの状況】

##### 1 ファンドの性格

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部\_\_\_\_\_は訂正部分を示します。

##### <訂正前>

(1) ファンドの目的及び基本的性格

（前略）

##### <商品分類>

（前略）

社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類及び属性区分は以下の通りです。（平成21年9月16日現在）

##### <商品分類表定義>

（前略）

##### [投資対象資産(収益の源泉)による区分]

(1) 株式...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。

(2) 債券...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

(3) 不動産投信(リート)...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券及び不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

(4) その他資産...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に上記(1)から(3)に掲げる資産以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、その他資産と併記して具体的な組入資産そのものの名称記載も可とする。

(5) 資産複合...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)に掲げる資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

##### [独立した区分]

（以下略）

#### <訂正後>

(1) ファンドの目的及び基本的性格

（前略）

#### <商品分類>

（前略）

社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類及び属性区分は以下の通りです。（平成22年7月1日現在）

#### <商品分類表定義>

（前略）

#### [投資対象資産(収益の源泉)による区分]

(1) 株式...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。

(2) 債券...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

(3) 不動産投信(リート)...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券及び不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

(4) その他資産...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に上記(1)から(3)に掲げる資産以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、その他資産と併記して具体的な収益の源泉となる資産の名称記載も可とする。

(5) 資産複合...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)に掲げる資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

#### [独立した区分]

（以下略）

#### <訂正前>

(2) ファンドの仕組み

（前略）

#### 委託会社の概況

委託会社

（前略）

・ 資本金の額

平成22年5月末現在、17,180百万円

・ 会社の沿革

（中略）

・大株主の状況(平成22年5月末現在)

（以下略）

#### <訂正後>

(2)ファンドの仕組み

（前略）

#### 委託会社の概況

委託会社

（前略）

・資本金の額

平成22年11月末現在、17,180百万円

・会社の沿革

（中略）

・大株主の状況(平成22年11月末現在)

（以下略）

## 2 投資方針

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部\_\_\_\_\_は訂正部分を示します。

#### <訂正前>

(3) 運用体制

（前略）

ファンドの運用体制等は平成22年6月23日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

#### <訂正後>

## (3) 運用体制

(前略)

ファンドの運用体制等は平成22年12月21日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

## 3 投資リスク

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部\_\_\_\_\_は訂正部分を示します。

## &lt;訂正前&gt;

**委託会社におけるリスクマネジメント体制**

(前略)

投資リスクに関する管理体制等は平成22年6月23日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

## &lt;訂正後&gt;

**委託会社におけるリスクマネジメント体制**

(前略)

投資リスクに関する管理体制等は平成22年12月21日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

## 4 手数料等及び税金

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部\_\_\_\_\_は訂正部分を示します。

## &lt;訂正前&gt;

## (3) 信託報酬等

信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年10,000分の32.55(税抜年10,000分の31)以内の率(平成22年6月23日現在年10,000分の23.1(税抜年10,000分の22))を乗じて得た額とし、その配分については次の通り(税抜)とします。

&lt;委託会社&gt;

年10,000分の13

&lt;販売会社&gt;

年10,000分の6

&lt;受託会社&gt;

年10,000分の3

上記の信託報酬の総額は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支払われます。

## &lt;訂正後&gt;

## (3) 信託報酬等

信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年10,000分の32.55(税抜年10,000分の31)以内の率(平成22年12月21日現在年10,000分の23.1(税抜年10,000分の22))を乗じて得た額とし、その配分については次の通り(税抜)とします。

< 委託会社 >	< 販売会社 >	< 受託会社 >
年10,000分の13	年10,000分の6	年10,000分の3

上記の信託報酬の総額は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支払われます。

## 5 運用状況

原届出書の 第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

## &lt;更新・訂正後&gt;

以下は平成22年10月29日現在の運用状況であります。  
また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## (1)投資状況

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	日本	12,665,927,099	99.95
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		5,147,260	0.04
合計(純資産総額)		12,671,074,359	100.00

## &lt;ご参考&gt;

## 「国内株式マザーファンド」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	日本	137,925,451,928	97.33
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		3,771,888,611	2.66
合計(純資産総額)		141,697,340,539	100.00

その他の資産として、下記の通り先物取引を利用しています。評価にあたっては取引所の発表する清算値段を用いております。

名称	取引所	種類	買建 / 売 建	通貨	枚数	簿価	評価額 (時価)	投資比 率 (%)
TOPIX先物(2010年 12月限)	東京証券 取引所	株価指数 先物	買建	円	449	3,699,270,870	3,618,940,000	2.55

## 「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	アメリカ	108,830,189,476	51.92
	カナダ	11,185,985,332	5.33
	イギリス	22,517,333,303	10.74
	スイス	8,152,778,070	3.88
	スウェーデン	3,247,336,502	1.54
	ノルウェー	845,907,849	0.40
	デンマーク	1,074,457,667	0.51
	ドイツ	8,755,410,640	4.17
	イタリア	3,111,509,312	1.48
	フランス	10,295,848,426	4.91
	オランダ	2,997,225,565	1.42
	スペイン	4,011,422,316	1.91
	ベルギー	1,036,597,008	0.49
	オーストリア	356,496,512	0.17
	フィンランド	1,209,344,143	0.57
	アイルランド	246,876,635	0.11
	ギリシャ	341,068,183	0.16
	ポルトガル	317,150,860	0.15
	香港	2,720,784,242	1.29
	シンガポール	1,730,129,387	0.82
オーストラリア	8,434,029,441	4.02	
ニュージーランド	108,358,635	0.05	
イスラエル	835,243,086	0.39	
小計		202,361,482,590	96.54
投資信託受益証券	カナダ	278,245,169	0.13
投資証券	アメリカ	1,855,220,876	0.88
	カナダ	25,669,047	0.01
	イギリス	263,847,369	0.12
	フランス	300,171,164	0.14
	オランダ	45,667,408	0.02
	香港	69,033,041	0.03
	シンガポール	54,224,923	0.02
	オーストラリア	588,708,849	0.28
小計		3,202,542,677	1.52
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		3,756,694,508	1.79

合計(純資産総額)	209,598,964,944	100.00
-----------	-----------------	--------

その他の資産として、下記の通り先物取引を利用しています。

評価にあたっては知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場  
で評価しております。

名称	取引所	種類	買建 / 売建	通貨	枚数	簿価 (現地通貨)	評価額 (時価・ 現地通貨)	評価額 (時価・円)	投資 比率 (%)
E-mini S&P500 株価指数 先物(2010年12 月限)	シカゴ・ マーカン タイル取 引所	株価 指数 先物	買建	米ド ル	488	27,851,337.5	28,773,700	2,327,504,593	1.11
ユーロ50株価指 数先物 (2010年12月限)	EUREX	株価 指数 先物	買建	ユー ロ	218	6,089,750	6,186,840	696,700,052	0.33
FT100株価指数 先物 (2010年12月限)	ロンドン 国際 金融先物 取引所	株価 指数 先物	買建	英 ポ ンド	66	3,696,475	3,739,230	482,622,416	0.23

「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
国債証券	日本	172,381,407,130	73.57
地方債証券	日本	16,116,204,089	6.87
特殊債券	日本	23,288,216,916	9.94
社債券	日本	19,155,959,000	8.17
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		3,342,238,371	1.42
合計(純資産総額)		234,284,025,506	100.00

「外国債券マザーファンド」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
-------	------	---------	---------

国債証券	アメリカ	123,163,398,129	39.14
	カナダ	8,420,398,703	2.67
	イギリス	23,788,398,645	7.56
	スイス	1,563,723,807	0.49
	スウェーデン	2,018,840,416	0.64
	ノルウェー	801,478,795	0.25
	デンマーク	2,858,516,190	0.90
	ドイツ	30,563,659,814	9.71
	イタリア	33,308,155,680	10.58
	フランス	29,714,593,707	9.44
	オランダ	7,840,452,665	2.49
	スペイン	13,452,694,225	4.27
	ベルギー	8,347,263,712	2.65
	オーストリア	5,627,031,642	1.78
	フィンランド	1,896,153,641	0.60
	アイルランド	1,796,601,933	0.57
	ポルトガル	2,689,391,431	0.85
	ポーランド	2,868,072,207	0.91
	シンガポール	1,089,464,233	0.34
	マレーシア	1,566,378,251	0.49
オーストラリア	3,024,188,515	0.96	
メキシコ	2,900,428,390	0.92	
小計	309,299,284,731	98.31	
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		5,315,437,518	1.68
合計(純資産総額)		314,614,722,249	100.00

## (2)投資資産

## 投資有価証券の主要銘柄

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価	簿価	評価	評価	投資 比率
					単価	金額	単価	金額	
					(円)	(円)	(円)	(円)	(%)

1	日本	投資信託受益証券 国内債券 NOMURA-BPI総合 マザーファンド	6,121,965,566	1.1091	6,789,906,476	1.1408	6,983,938,317	55.11
2	日本	投資信託受益証券 国内株式マザー ファンド	3,747,159,690	0.7855	2,943,639,429	0.6731	2,522,213,187	19.90
3	日本	投資信託受益証券 外国債券マザー ファンド	1,314,713,663	1.5387	2,022,989,002	1.4382	1,890,821,190	14.92
4	日本	投資信託受益証券 外国株式 MSCI-KOKUSAI マザーファンド	1,370,953,334	0.9983	1,368,622,714	0.9256	1,268,954,405	10.01

<ご参考>  
「国内株式マザーファンド」

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	株式	トヨタ自動車	輸送 用機 器	1,633,600	3,476.90	5,679,863,840	2,859.00	4,670,462,400	3.29
2	日本	株式	三菱UF Jフィナ ンシャル ・ グループ	銀行 業	9,498,000	462.90	4,396,631,508	375.00	3,561,750,000	2.51
3	日本	株式	本田技研 工業	輸送 用機 器	1,072,800	3,021.42	3,241,385,064	2,937.00	3,150,813,600	2.22
4	日本	株式	キヤノン	電気 機器	789,900	4,061.38	3,208,084,062	3,720.00	2,938,428,000	2.07
5	日本	株式	三井住友 フィナン シャルグ ループ	銀行 業	949,100	2,888.28	2,741,266,836	2,412.00	2,289,229,200	1.61
6	日本	株式	日本電信 電話	情報 ・通 信業	535,700	3,720.32	1,992,978,844	3,655.00	1,957,983,500	1.38
7	日本	株式	三菱商事	卸売 業	1,005,000	2,107.03	2,117,568,362	1,935.00	1,944,675,000	1.37
8	日本	株式	ソニー	電気 機器	713,900	3,011.51	2,149,919,292	2,690.00	1,920,391,000	1.35
9	日本	株式	武田薬品 工業	医薬 品	498,800	3,904.65	1,947,642,187	3,770.00	1,880,476,000	1.32
10	日本	株式	東京電力	電気 ・ガ ス業	936,000	2,284.99	2,138,752,508	1,925.00	1,801,800,000	1.27

11	日本	株式	みずほ フィナン シャルグ ループ	銀行 業	15,307,900	158.34	2,423,942,868	117.00	1,791,024,300	1.26
12	日本	株式	ファナッ ク	電気 機器	132,400	9,852.51	1,304,473,417	11,650.00	1,542,460,000	1.08
13	日本	株式	任天堂	その 他製 品	72,700	28,027.92	2,037,630,160	20,850.00	1,515,795,000	1.06
14	日本	株式	パナソ ニック	電気 機器	1,259,100	1,269.73	1,598,728,500	1,183.00	1,489,515,300	1.05
15	日本	株式	ソフトバ ンク	情報 ・通 信業	555,600	2,197.24	1,220,787,848	2,590.00	1,439,004,000	1.01
16	日本	株式	エヌ・ ティ・ ティ・ド コモ	情報 ・通 信業	10,374	141,692.47	1,469,917,683	135,500.00	1,405,677,000	0.99
17	日本	株式	三井物産	卸売 業	1,083,300	1,351.60	1,464,193,500	1,265.00	1,370,374,500	0.96
18	日本	株式	小松製作 所	機械	630,900	1,798.92	1,134,943,238	1,972.00	1,244,134,800	0.87
19	日本	株式	三菱地所	不動 産業	878,000	1,566.26	1,375,183,230	1,410.00	1,237,980,000	0.87
20	日本	株式	日産自動 車	輸送 用機 器	1,606,400	749.61	1,204,174,464	710.00	1,140,544,000	0.80
21	日本	株式	野村ホー ルディン グス	証券、 商品 先物 取引 業	2,643,100	596.55	1,576,765,152	418.00	1,104,815,800	0.77
22	日本	株式	東日本旅 客鉄道	陸運 業	221,100	6,085.95	1,345,603,545	4,975.00	1,099,972,500	0.77

23	日本	株式	東京海上 ホールディングス	保険業	476,500	2,665.71	1,270,210,815	2,268.00	1,080,702,000	0.76
24	日本	株式	関西電力	電気・ガス業	518,900	2,090.94	1,084,992,967	2,038.00	1,057,518,200	0.74
25	日本	株式	日立製作所	電気機器	2,854,000	390.38	1,114,144,520	364.00	1,038,856,000	0.73
26	日本	株式	東芝	電気機器	2,510,000	510.54	1,281,455,400	403.00	1,011,530,000	0.71
27	日本	株式	セブン& アイ・ホールディングス	小売業	525,000	2,284.92	1,199,585,450	1,873.00	983,325,000	0.69
28	日本	株式	三菱電機	電気機器	1,272,000	779.63	991,699,960	755.00	960,360,000	0.67
29	日本	株式	信越化学工業	化学	221,800	5,064.04	1,123,206,063	4,075.00	903,835,000	0.63
30	日本	株式	三井不動産	不動産業	592,000	1,544.02	914,061,760	1,521.00	900,432,000	0.63

## 「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」

順位	国/ 地域	種 類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	アメ リカ	株 式	EXXON MOBIL CORP	石油・ ガス・ 消耗燃 料	622,200	5,346.82	3,326,797,003	5,356.53	3,332,836,574	1.59
2	アメ リカ	株 式	APPLE INC	コン ピュー タ・ 周辺機 器	111,100	19,253.43	2,139,056,939	24,690.86	2,743,154,945	1.30
3	アメ リカ	株 式	MICROSOFT CORP	ソフト ウェア	962,600	2,360.37	2,272,092,354	2,125.78	2,046,284,683	0.97
4	スイ ス	株 式	NESTLE SA-REG	食品	423,120	4,417.80	1,869,259,959	4,404.66	1,863,701,854	0.88
5	イギ リス	株 式	HSBC HOLDINGS PLC	商業銀 行	2,136,600	857.02	1,831,119,187	850.57	1,817,330,639	0.86
6	アメ リカ	株 式	PROCTER & GAMBLE CO	家庭用 品	351,400	5,120.33	1,799,286,421	5,111.43	1,796,159,699	0.85
7	アメ リカ	株 式	INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES	情報技 術サー ビス	156,500	10,383.04	1,624,945,822	11,397.40	1,783,693,256	0.85
8	アメ リカ	株 式	JOHNSON & JOHNSON	医薬品	336,500	5,187.47	1,745,585,573	5,141.36	1,730,070,466	0.82
9	アメ リカ	株 式	GENERAL ELEC CO	コング ロマ リット	1,302,700	1,451.97	1,891,488,483	1,300.71	1,694,436,480	0.80

10	アメリカ	株式	CHEVRON CORP	石油・ ガス・ 消耗燃料	245,100	6,062.70	1,485,969,118	6,830.35	1,674,119,177	0.79
11	アメリカ	株式	AT & T INC	各種電 気通信 サービ ス	721,000	2,089.38	1,506,449,252	2,305.36	1,662,168,165	0.79
12	アメリカ	株式	GOOGLE INC-CL A	イン ター ネット  ソフト ウェア	29,960	44,851.07	1,343,738,305	50,036.93	1,499,106,608	0.71
13	アメリカ	株式	JPMORGAN CHASE & CO	各種金 融サー ビス	485,400	3,541.36	1,718,978,182	3,034.18	1,472,792,865	0.70
14	イギリス	株式	VODAFONE GROUP PLC	無線通 信サー ビス	6,424,800	193.60	1,243,873,404	220.32	1,415,527,933	0.67
15	アメリカ	株式	PFIZER INC	医薬品	983,900	1,375.93	1,353,786,283	1,421.23	1,398,355,379	0.66
16	オーストラリア	株式	BHP BILLITON LIMITED	金属・ 鉱業	409,400	3,447.28	1,411,319,952	3,318.46	1,358,581,495	0.64
17	アメリカ	株式	CISCO SYSTEMS	通信機 器	696,600	2,112.84	1,471,809,080	1,875.83	1,306,709,517	0.62
18	アメリカ	株式	WELLS FARGO CO	商業銀 行	603,600	2,450.15	1,478,915,429	2,098.28	1,266,525,791	0.60
19	アメリカ	株式	COCA COLA CO	飲料	253,200	4,411.74	1,117,052,719	4,951.27	1,253,663,311	0.59

20	イギリス	株式	BP PLC	石油・ガス・ 消耗燃料	2,291,600	767.96	1,759,872,031	545.96	1,251,135,914	0.59
21	スイス	株式	NOVARTIS-REG	医薬品	257,340	4,635.36	1,192,865,086	4,663.27	1,200,048,475	0.57
22	アメリカ	株式	ORACLE CORPORATION	ソフトウェア	489,600	2,031.95	994,846,049	2,374.93	1,162,765,923	0.55
23	アメリカ	株式	BANK OF AMERICA CORP	各種金融サービス	1,223,600	1,405.86	1,720,220,329	932.66	1,141,204,856	0.54
24	アメリカ	株式	MERCK & CO INC	医薬品	380,200	3,009.10	1,144,062,861	2,988.07	1,136,066,723	0.54
25	フランス	株式	TOTAL SA	石油・ガス・ 消耗燃料	257,730	4,752.14	1,224,769,557	4,398.54	1,133,637,415	0.54
26	アメリカ	株式	INTEL CORP	半導体・ 半導体製造装置	678,400	1,782.81	1,209,462,103	1,655.81	1,123,307,134	0.53
27	イギリス	株式	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	石油・ガス・ 消耗燃料	432,300	2,429.09	1,050,098,806	2,564.62	1,108,685,615	0.52
28	スペイン	株式	TELEFONICA SA	各種電気通信サービス	500,850	1,969.54	986,448,566	2,189.13	1,096,429,967	0.52

29	アメリカ	株式	WAL-MART STORES INC	食品・生活必需品小売り	248,800	4,477.26	1,113,942,661	4,374.53	1,088,383,362	0.51
30	アメリカ	株式	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	タバコ	225,800	4,188.48	945,759,732	4,793.54	1,082,381,648	0.51

## 「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	日本	国債証券	国庫債券利付(5年)第88回	3,300,000,000	99.84	3,294,984,000	100.97	3,332,076,000	0.5	2015/3/20	1.42
2	日本	国債証券	国庫債券利付(2年)第296回	3,000,000,000	99.97	2,999,260,000	99.93	2,998,020,000	0.1	2012/9/15	1.27
3	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第305回	2,600,000,000	99.44	2,585,492,000	104.20	2,709,408,000	1.3	2019/12/20	1.15

4	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第30回	2,400,000,000	100.92	2,422,196,000	101.90	2,445,744,000	1.1	2020/6/20	1.04
5	日本	国債証券	国庫債券利付(2年)第293回	2,400,000,000	100.12	2,402,967,000	100.12	2,402,880,000	0.2	2012/6/15	1.02
6	日本	国債証券	国庫債券利付(5年)第86回	2,100,000,000	101.16	2,124,523,000	101.42	2,129,841,000	0.6	2014/9/20	0.90
7	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第291回	2,000,000,000	101.64	2,032,980,000	105.57	2,111,500,000	1.3	2018/3/20	0.90
8	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第288回	1,950,000,000	105.07	2,048,865,000	108.26	2,111,167,500	1.7	2017/9/20	0.90
9	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第306回	2,000,000,000	100.16	2,003,385,000	104.86	2,097,300,000	1.4	2020/3/20	0.89

10	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第30回	1,900,000,000	102.13	1,940,603,000	106.62	2,025,818,000	1.5	2019/3/20	0.86
11	日本	国債証券	国庫債券利付(5年)第89回	2,000,000,000	100.25	2,005,138,000	100.52	2,010,480,000	0.4	2015/6/20	0.85
12	日本	国債証券	国庫債券利付(2年)第290回	2,000,000,000	100.09	2,001,820,000	100.10	2,002,020,000	0.2	2012/3/15	0.85
13	日本	国債証券	国庫債券利付(5年)第81回	1,900,000,000	101.51	1,928,842,000	102.06	1,939,159,000	0.8	2014/3/20	0.82
14	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第287回	1,750,000,000	106.69	1,867,180,000	109.46	1,915,690,000	1.9	2017/6/20	0.81
15	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第299回	1,800,000,000	100.44	1,807,974,000	104.99	1,889,892,000	1.3	2019/3/20	0.80

16	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第30回	1,700,000,000	101.85	1,731,518,000	106.42	1,809,140,000	1.5	2019/6/20	0.77
17	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第30回	1,700,000,000	100.98	1,716,796,000	105.56	1,794,588,000	1.4	2019/6/20	0.76
18	日本	国債証券	国庫債券利付(5年)第63回	1,750,000,000	102.01	1,785,315,000	101.47	1,775,882,500	1.2	2012/3/20	0.75
19	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第29回	1,650,000,000	102.41	1,689,913,500	106.28	1,753,719,000	1.4	2018/3/20	0.74
20	日本	国債証券	国庫債券利付(20年)第33回	1,410,000,000	118.46	1,670,342,400	119.96	1,691,562,900	3.8	2016/9/20	0.72
21	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第29回	1,600,000,000	100.74	1,611,968,000	105.21	1,683,504,000	1.3	2018/12/20	0.71

22	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第28回	1,500,000,000	105.59	1,583,895,000	107.71	1,615,665,000	1.7	2016/9/20	0.68
23	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第29回	1,500,000,000	102.65	1,539,870,000	106.88	1,603,335,000	1.5	2018/9/20	0.68
24	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第29回	1,500,000,000	101.57	1,523,655,000	105.99	1,589,895,000	1.4	2018/12/20	0.67
25	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第23回	1,560,000,000	102.30	1,595,911,200	101.55	1,584,289,200	1.5	2011/12/20	0.67
26	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第29回	1,450,000,000	105.26	1,526,270,000	109.22	1,583,791,500	1.8	2018/6/20	0.67
27	日本	国債証券	国庫債券利付(5年)第82回	1,500,000,000	101.90	1,528,605,000	102.39	1,535,940,000	0.9	2014/3/20	0.65

28	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第242回	1,500,000,000	102.43	1,536,525,000	102.00	1,530,045,000	1.2	2012/9/20	0.65
29	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第283回	1,400,000,000	106.24	1,487,360,000	108.28	1,516,018,000	1.8	2016/9/20	0.64
30	日本	国債証券	国庫債券利付(10年)第249回	1,420,000,000	100.99	1,434,157,400	101.07	1,435,265,000	0.6	2013/3/20	0.61

## 「外国債券マザーファンド」

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	28,167,000	12,342.05	3,476,386,913	12,002.53	3,380,754,554	5	2012/7/4	1.07
2	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	24,000,000	11,461.30	2,750,712,984	11,574.85	2,777,964,825	11.25	2015/2/15	0.88

3	イギリス	国債証券	UK TREASURY	19,500,000	13,716.26	2,674,672,435	14,071.21	2,743,886,223	4.75	2038/12/7	0.87
4	イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	18,438,000	12,702.40	2,342,069,987	13,213.65	2,436,334,151	6	2031/5/1	0.77
5	フランス	国債証券	FRANCE GOVERNMENT O.A.T	18,500,000	11,634.86	2,152,450,062	12,483.94	2,309,529,751	4	2038/10/25	0.73
6	イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	18,000,000	11,682.16	2,102,789,052	11,702.31	2,106,417,346	5	2012/2/1	0.66
7	ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	16,670,000	12,578.53	2,096,842,117	12,386.53	2,064,835,709	4.25	2014/7/4	0.65
8	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	24,000,000	8,225.60	1,974,145,728	8,247.93	1,979,504,617	1.375	2012/10/15	0.62
9	アメリカ	国債証券	US TREASURY NOTE	21,500,000	8,851.13	1,902,994,038	8,996.48	1,934,244,207	4.25	2013/11/15	0.61
10	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	22,000,000	8,688.09	1,911,380,143	8,738.01	1,922,363,355	3.875	2013/2/15	0.61

11	フランス	国債証券	FRANCE GOVERNMENT O.A.T	15,420,000	12,330.79	1,901,408,589	12,045.89	1,857,476,500	4.75	2012/10/25	0.59
12	ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	14,950,000	12,382.59	1,851,198,042	12,088.68	1,807,258,183	4.5	2013/1/4	0.57
13	イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	10,840,000	16,212.46	1,757,430,848	16,590.83	1,798,446,112	9	2023/11/1	0.57
14	フランス	国債証券	FRANCE GOVERNMENT O.A.T	10,670,000	16,347.59	1,744,288,247	16,420.79	1,752,098,314	8.5	2019/10/25	0.55
15	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	20,000,000	8,657.12	1,731,425,050	8,663.12	1,732,625,781	3.875	2012/10/31	0.55
16	ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	14,100,000	12,513.22	1,764,364,471	12,286.87	1,732,449,671	4.25	2014/1/4	0.55
17	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	20,000,000	8,156.30	1,631,260,601	8,646.38	1,729,276,450	3.375	2019/11/15	0.54
18	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	20,000,000	8,221.07	1,644,215,600	8,603.72	1,720,745,143	2.5	2015/3/31	0.54
19	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	20,000,000	8,221.70	1,644,341,950	8,559.48	1,711,897,719	2.375	2014/9/30	0.54

20	イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	14,200,000	11,711.44	1,663,024,480	11,937.78	1,695,165,626	4.25	2014/8/1	0.53
21	イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	12,235,000	13,287.98	1,625,784,353	13,791.34	1,687,371,268	6.5	2027/11/1	0.53
22	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	18,550,000	8,822.69	1,636,610,362	8,935.81	1,657,594,087	4.25	2013/8/15	0.52
23	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	18,500,000	8,233.71	1,523,237,656	8,837.23	1,634,888,012	3.625	2019/8/15	0.51
24	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	19,500,000	8,311.70	1,620,782,818	8,345.88	1,627,448,324	1.75	2013/4/15	0.51
25	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	20,000,000	8,090.57	1,618,115,977	8,127.23	1,625,446,531	0.625	2012/6/30	0.51
26	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	18,800,000	8,234.81	1,548,146,041	8,535.79	1,604,728,567	4.375	2039/11/15	0.51
27	イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	13,500,000	11,474.95	1,549,119,465	11,733.96	1,584,084,870	3.75	2016/8/1	0.50

28	アメリカ	国債証券	US TREASURY BOND	13,580,000	11,142.59	1,513,164,740	11,579.90	1,572,551,650	8.75	2017/5/15	0.49
29	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	18,000,000	8,381.59	1,508,686,864	8,717.79	1,569,202,695	4.5	2039/8/15	0.49
30	イギリス	国債証券	UK TREASURY	11,600,000	13,245.16	1,536,438,954	13,521.37	1,568,479,291	4.5	2042/12/7	0.49

## 種類別及び業種別投資比率

種類	業種	投資比率(%)
投資信託受益証券		99.95
合計		99.95

&lt;ご参考&gt;

「国内株式マザーファンド」

種類	業種	投資比率(%)
株式	水産・農林業	0.09
	鉱業	0.50
	建設業	1.90
	食料品	2.96
	繊維製品	0.86
	パルプ・紙	0.37
	化学	5.71
	医薬品	4.22
	石油・石炭製品	0.80
	ゴム製品	0.59
	ガラス・土石製品	1.16
	鉄鋼	2.27
	非鉄金属	1.30
	金属製品	0.63
	機械	4.63
	電気機器	14.69
	輸送用機器	9.54
	精密機器	1.38
	その他製品	2.06
	電気・ガス業	5.09
	陸運業	3.65
	海運業	0.61
	空運業	0.36

倉庫・運輸関連業	0.22
情報・通信業	5.61
卸売業	5.10
小売業	3.43
銀行業	8.87
証券、商品先物取引業	1.38
保険業	2.42
その他金融業	0.68
不動産業	2.44
サービス業	1.64
小計	97.33
合計	97.33

## 「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」

種類	業種	投資比率(%)
株式	エネルギー設備・サービス	1.50
	石油・ガス・消耗燃料	9.36
	化学	2.65
	建設資材	0.32
	容器・包装	0.16
	金属・鉱業	4.32
	紙製品・林産品	0.21
	航空宇宙・防衛	1.73
	建設関連製品	0.17
	建設・土木	0.50
	電気設備	0.84
	コングロマリット	2.07
	機械	1.83
	商社・流通業	0.15
	商業・専門サービス	0.44
	航空貨物・物流サービス	0.60
	旅客航空輸送業	0.15
	海運業	0.12
	陸運・鉄道	0.72
	運送インフラ	0.18
	自動車部品	0.31
	自動車	0.92
	家庭用耐久財	0.26
	レジャー用品	0.06
	繊維・アパレル・贅沢品	0.89
	ホテル・レストラン・レジャー	1.46
	メディア	2.54
	販売	0.10
	インターネット販売カタログ販売	0.48

複合小売り	0.61
専門小売り	1.36
食品・生活必需品小売り	2.44
飲料	2.17
食品	2.70
タバコ	1.42
家庭用品	1.47
パーソナル用品	0.26
ヘルスケア機器・用品	1.30
ヘルスケアプロバイダ・サービス	1.14
バイオテクノロジー	0.93
医薬品	6.18
商業銀行	8.42
各種金融サービス	2.57
保険	4.13
不動産管理・開発	0.72
インターネットソフトウェア	1.07
情報技術サービス	1.88
ソフトウェア	2.45
通信機器	1.71
コンピュータ・周辺機器	2.31
電子装置・機器・部品	0.41
事務用電子機器	0.08
半導体・半導体製造装置	1.57
各種電気通信サービス	3.30
無線通信サービス	1.10
電力	2.02
ガス	0.16
総合公益事業	1.54
水道	0.04
貯蓄・抵当・不動産金融	0.08
消費者金融	0.36
資本市場	2.34

	各種消費者サービス	0.06
	独立系発電事業・エネルギー販売	0.19
	ヘルスケア・テクノロジー	0.02
	ライフサイエンスツールサービス	0.28
	不動産投資信託	0.03
	専門サービス	0.33
	小計	96.54
投資信託受益証券		0.13
投資証券		1.52
合計		98.20

## 「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」

種類	業種	投資比率(%)
国債証券		73.57
地方債証券		6.87
特殊債券		9.94
社債券		8.17
合計		98.57

## 「外国債券マザーファンド」

種類	業種	投資比率(%)
国債証券		98.31
合計		98.31

投資不動産物件  
該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの  
該当事項はありません。

<ご参考>

## 「国内株式マザーファンド」

その他の資産として、下記の通り先物取引を利用しています。評価にあたっては取引所の発表する清算値段を用いております。

名称	取引所	種類	買建 / 売 建	通貨	枚数	簿価	評価額 (時価)	投資 比率 (%)
TOPIX先物(2010年12月限)	東京証券取引所	株価指数先物	買建	円	449	3,699,270,870	3,618,940,000	2.55

## 「外国株式MSCI-KOKUSAI マザーファンド」

その他の資産として、下記の通り先物取引を利用しています。

評価にあたっては知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場  
で評価しております。

名称	取引所	種類	買建 / 売建	通貨	枚数	簿価 (現地通貨)	評価額 (時価・ 現地通貨)	評価額 (時価・円)	投資 比率 (%)
E-mini S&P500 株価指数 先物(2010年12 月限)	シカゴ・ マーカン タイトル取引所	株価 指数 先物	買建	米ドル	488	27,851,337.5	28,773,700	2,327,504,593	1.11
ユーロ50株価指 数先物 (2010年12月限)	EUREX	株価 指数 先物	買建	ユー ロ	218	6,089,750	6,186,840	696,700,052	0.33
FT100株価指数 先物 (2010年12月限)	ロンドン 国際 金融先物 取引所	株価 指数 先物	買建	英 ポ ンド	66	3,696,475	3,739,230	482,622,416	0.23

## (3)運用実績

## 純資産の推移

平成22年10月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

計算期間	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1期 (2003年3月31日)	312	312	0.9951	0.9951
第2期 (2004年3月31日)	2,002	2,003	1.0894	1.0904
第3期 (2005年3月31日)	3,774	3,777	1.1323	1.1333
第4期 (2006年3月31日)	5,593	5,602	1.2580	1.2600
第5期 (2007年4月 2 日)	7,001	7,004	1.3076	1.3081
第6期 (2008年3月31日)	8,757	8,760	1.2352	1.2357
第7期 (2009年3月31日)	9,568	9,573	1.0801	1.0806
第8期 (2010年3月31日)	12,243	12,248	1.2001	1.2006
2009年10月末日	11,129		1.1642	
11月末日	11,036		1.1462	
12月末日	11,744		1.1785	

2010年1月末日	11,767		1.1623	
2月末日	11,703		1.1585	
3月末日	12,243		1.2001	
4月末日	12,435		1.2115	
5月末日	12,024		1.1602	
6月末日	12,219		1.1455	
7月末日	12,453		1.1598	
8月末日	12,332		1.1417	
9月末日	12,678		1.1661	
10月末日	12,671		1.1531	

## 分配の推移

期	1口当たりの分配金
第1期	0.0000 円
第2期	0.0010 円
第3期	0.0010 円
第4期	0.0020 円
第5期	0.0005 円
第6期	0.0005 円
第7期	0.0005 円
第8期	0.0005 円

## 収益率の推移

期	収益率
第1期	0.5 %
第2期	9.6 %
第3期	4.0 %
第4期	11.3 %
第5期	4.0 %
第6期	5.5 %
第7期	12.5 %
第8期	11.2 %
第9期(中間期)	2.8 %

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

## 第2【財務ハイライト情報】

原届出書の 第二部 ファンド情報 第2 財務ハイライト情報 の該当部分を以下のように訂正するとともに、末尾に添付のように「中間財務諸表」が追加されます。

下線部\_\_\_\_\_は訂正部分を示します。

## &lt;訂正前&gt;

以下の情報は、「第三部 ファンドの詳細情報 第4 ファンドの経理状況」に記載されている「財務諸表」から抜粋して記載したものです。

ファンドの「財務諸表」については、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

また、当該監査法人による監査報告書は、「第三部 ファンドの詳細情報 第4ファンドの経理状況」に記載されている「財務諸表」に添付されています。

## &lt;訂正後&gt;

以下の情報は、「第三部 ファンドの詳細情報 第4 ファンドの経理状況」に記載されている「財務諸表」および「中間財務諸表」から抜粋して記載したものです。

ファンドの「財務諸表」および「中間財務諸表」については、新日本有限責任監査法人による監査および中間監査を受けております。

また、当該監査法人による監査報告書および中間監査報告書は、「第三部 ファンドの詳細情報 第4ファンドの経理状況」に記載されている「財務諸表」および「中間財務諸表」に添付されています。

## &lt;中間財務諸表&gt;

## 1 中間貸借対照表

科目	期別 第8期中間計算期間末 平成21年9月30日現在 金額(円)	第9期中間計算期間末 平成22年9月30日現在 金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	21,606,768	23,811,520
親投資信託受益証券	10,974,443,660	12,673,754,892
未収利息	68	76
流動資産合計	10,996,050,496	12,697,566,488
資産合計	10,996,050,496	12,697,566,488
負債の部		
流動負債		
未払解約金	4,999,033	4,218,358
未払受託者報酬	1,641,721	1,941,942
未払委託者報酬	10,397,497	12,298,916
その他未払費用	164,114	194,134
流動負債合計	17,202,365	18,653,350
負債合計	17,202,365	18,653,350
純資産の部		
元本等		
元本	9,425,289,307	10,872,936,799
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金( )	1,553,558,824	1,805,976,339
(分配準備積立金)	930,876,256	1,079,404,289
元本等合計	10,978,848,131	12,678,913,138

純資産合計	10,978,848,131	12,678,913,138
負債純資産合計	10,996,050,496	12,697,566,488

## 2 中間損益及び剰余金計算書

期別	第8期中間計算期間 自平成21年4月1日 至平成21年9月30日	第9期中間計算期間 自平成22年4月1日 至平成22年9月30日
科目	金額(円)	金額(円)
営業収益		
受取利息	6,797	7,579
有価証券売買等損益	771,643,245	330,533,661
その他収益	88	
営業収益合計	771,650,130	330,526,082
営業費用		
受託者報酬	1,641,721	1,941,942
委託者報酬	10,397,497	12,298,916
その他費用	164,114	194,134
営業費用合計	12,203,332	14,434,992
営業利益	759,446,798	344,961,074
経常利益	759,446,798	344,961,074
中間純利益	759,446,798	344,961,074
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	20,713,585	11,196,352
期首剰余金又は期首欠損金( )	709,541,390	2,041,080,556
剰余金増加額又は欠損金減少額	133,171,311	168,158,146
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は 欠損金減少額	133,171,311	168,158,146
剰余金減少額又は欠損金増加額	27,887,090	69,497,641
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は 欠損金増加額	27,887,090	69,497,641
分配金		
中間剰余金又は中間欠損金( )	1,553,558,824	1,805,976,339

## &lt; 中間注記表 &gt;

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	第8期中間計算期間 自平成21年4月1日 至平成21年9月30日	第9期中間計算期間 自平成22年4月1日 至平成22年9月30日
1 運用資産の評価基準 及び評価方法	(1) 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。	(1) 親投資信託受益証券 同左
2 費用・収益の計上基準	(1) 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	(1) 有価証券売買等損益の計上基準 同左

3 その他	当ファンドの計算期間は、平成21年4月1日から平成22年3月31日までとなっております。 なお、当該中間計算期間は、平成21年4月1日から平成21年9月30日までとなっております。	当ファンドの計算期間は、平成22年4月1日から平成23年3月31日までとなっております。 なお、当該中間計算期間は、平成22年4月1日から平成22年9月30日までとなっております。
-------	---	---

### 第三部【ファンドの詳細情報】

#### 第4【ファンドの経理状況】

##### 1 財務諸表

原届出書の 第三部 ファンドの詳細情報 第4 ファンドの経理状況 1 財務諸表 につきましては、以下の「中間財務諸表」が追加されます。

##### < 中間財務諸表 >

マイバランス30(確定拠出年金向け)

- (1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)(以下「中間財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表等規則は、平成20年8月7日付内閣府令第50号により改正されておりますが、第8期中間計算期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)については内閣府令第50号附則第4条第1項第1号により、改正前の中間財務諸表等規則に基づき作成しており、第9期中間計算期間(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)については改正後の中間財務諸表等規則に基づいて作成しております。

また、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第8期中間計算期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)および第9期中間計算期間(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)の中間財務諸表について、新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

## (1)【中間貸借対照表】

(単位：円)

	第8期中間計算期間末 平成21年 9月30日現在	第9期中間計算期間末 平成22年 9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	21,606,768	23,811,520
親投資信託受益証券	10,974,443,660	12,673,754,892
未収利息	68	76
流動資産合計	10,996,050,496	12,697,566,488
資産合計	10,996,050,496	12,697,566,488
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	4,999,033	4,218,358
未払受託者報酬	1,641,721	1,941,942
未払委託者報酬	10,397,497	12,298,916
その他未払費用	164,114	194,134
流動負債合計	17,202,365	18,653,350
負債合計	17,202,365	18,653,350
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	9,425,289,307	10,872,936,799
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	1,553,558,824	1,805,976,339
（分配準備積立金）	930,876,256	1,079,404,289
元本等合計	10,978,848,131	12,678,913,138
純資産合計	10,978,848,131	12,678,913,138
負債純資産合計	10,996,050,496	12,697,566,488

## (2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第8期中間計算期間 自平成21年 4月 1日 至平成21年 9月30日	第9期中間計算期間 自平成22年 4月 1日 至平成22年 9月30日
<b>営業収益</b>		
受取利息	6,797	7,579
有価証券売買等損益	771,643,245	330,533,661
その他収益	88	-
<b>営業収益合計</b>	<b>771,650,130</b>	<b>330,526,082</b>
<b>営業費用</b>		
受託者報酬	1,641,721	1,941,942
委託者報酬	10,397,497	12,298,916
その他費用	164,114	194,134
<b>営業費用合計</b>	<b>12,203,332</b>	<b>14,434,992</b>
<b>営業利益</b>	<b>759,446,798</b>	<b>344,961,074</b>
経常利益	759,446,798	344,961,074
<b>中間純利益</b>	<b>759,446,798</b>	<b>344,961,074</b>
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	20,713,585	11,196,352
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	709,541,390	2,041,080,556
剰余金増加額又は欠損金減少額	133,171,311	168,158,146
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	133,171,311	168,158,146
剰余金減少額又は欠損金増加額	27,887,090	69,497,641
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	27,887,090	69,497,641
分配金	-	-
<b>中間剰余金又は中間欠損金（ ）</b>	<b>1,553,558,824</b>	<b>1,805,976,339</b>

1. 委託会社である野村アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。

なお、財務諸表等規則は、平成20年8月7日付内閣府令第50号により改正されておりますが、第50期事業年度(前事業年度)は改正前、第51期事業年度(当事業年度)は改正後の財務諸表等規則に基づいて作成しております。

委託会社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号、以下「中間財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第38条及び第57条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。
2. 財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
3. 委託会社の財務諸表については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前事業年度及び当事業年度の財務諸表ならびに当中間会計期間の中間財務諸表について、新日本有限責任監査法人の監査及び中間監査を受けております。

## (1) 貸借対照表

		前事業年度 (平成21年 3月31日)	当事業年度 (平成22年 3月31日)
区分	注記 番号	金額(百万円)	金額(百万円)
(資産の部)			
流動資産			
現金・預金		560	520
金銭の信託		34,551	38,530
有価証券		3,400	5,100
短期貸付金		592	126
前払金		43	0
前払費用		17	47
未収入金		84	79
未収委託者報酬		7,489	9,756
未収収益		1,629	2,645
未収法人税等		498	-
繰延税金資産		879	1,513
その他		807	143
貸倒引当金		4	6
流動資産計		50,549	58,457
固定資産			
有形固定資産		2,183	1,729
建物	2	710	635
器具備品	2	1,472	1,094
無形固定資産		12,407	11,839
ソフトウェア		12,403	11,836
電話加入権		2	1
その他		1	1
投資その他の資産		28,519	28,988
投資有価証券		10,693	11,614
関係会社株式		15,743	16,099
従業員長期貸付金		385	366
長期差入保証金		39	66
長期前払費用		19	23
繰延税金資産		1,256	490
その他		381	327
貸倒引当金		0	0
固定資産計		43,110	42,557
資産合計		93,659	101,014

		前事業年度 (平成21年 3月31日)	当事業年度 (平成22年 3月31日)
区分	注記 番号	金額(百万円)	金額(百万円)
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>			
関係会社短期借入金		12,000	11,000
預り金		95	95
未払金	1	5,750	6,217
未払収益分配金		5	4
未払償還金		82	61
未払手数料		3,275	4,226
その他未払金		2,387	1,925
未払費用	1	4,849	7,594
未払法人税等		4	849
前受収益		6	9
賞与引当金		1,080	2,538
その他		4	-
流動負債計		23,790	28,305
<b>固定負債</b>			
退職給付引当金		4,620	4,576
時効後支払損引当金		462	475
その他		642	351
固定負債計		5,724	5,403
<b>負債合計</b>		<b>29,515</b>	<b>33,708</b>
<b>(純資産の部)</b>			
<b>株主資本</b>			
資本金		17,180	17,180
資本剰余金		11,729	11,729
資本準備金	11,729		11,729
利益剰余金		32,900	35,164
利益準備金	685		685
その他利益剰余金	32,215		34,479
別途積立金	24,606		24,606
繰越利益剰余金	7,608		9,872
評価・換算差額等		2,333	3,231
その他有価証券評価差額金		2,084	3,056
繰延ヘッジ損益		249	175
<b>純資産合計</b>		<b>64,143</b>	<b>67,306</b>
<b>負債・純資産合計</b>		<b>93,659</b>	<b>101,014</b>

## (2) 損益計算書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日)		当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	
		金額(百万円)		金額(百万円)	
営業収益					
委託者報酬			84,195		76,293
運用受託報酬			8,315		10,576
その他営業収益			27		57
営業収益計			92,537		86,927
営業費用					
支払手数料			39,122		35,199
広告宣伝費			1,438		1,155
公告費			2		0
受益証券発行費			34		10
調査費			21,176		20,998
調査費		1,643		1,394	
委託調査費		19,532		19,603	
委託計算費			790		883
営業雑経費			2,709		2,493
通信費		208		222	
印刷費		1,382		1,293	
協会費		87		71	
諸経費		1,031		905	
営業費用計			65,272		60,740
一般管理費					
給料			8,863		9,912
役員報酬	2	329		388	
給料・手当		6,507		6,740	
賞与		2,025		2,784	
交際費			168		153
旅費交通費			557		458
租税公課			443		206
不動産賃借料			1,559		1,464
退職給付費用			1,124		1,116
固定資産減価償却費			3,288		4,630
諸経費			6,448		6,529
一般管理費計			22,452		24,471
営業利益			4,812		1,715

区分	注記 番号	前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)		当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
		金額(百万円)		金額(百万円)	
営業外収益					
受取配当金	1	8,013		3,698	
収益分配金		225		6	
受取利息		32		5	
金銭の信託運用益		-		2,385	
デリバティブ利益		858		-	
為替差益		-		45	
その他		192		283	
営業外収益計			9,322		6,424
営業外費用					
支払利息	1	175		98	
金銭の信託運用損		1,212		-	
為替差損		133		-	
時効後支払損引当金繰入額		97		37	
その他		53		53	
営業外費用計			1,671		189
経常利益			12,463		7,950
特別利益					
投資有価証券等売却益		1,085		72	
株式報酬受入益		299		226	
リース資産買取差益		2		-	
特別利益計			1,387		299
特別損失					
投資有価証券等売却損		1,471		60	
投資有価証券等評価損		5		70	
固定資産除却損	3	405		16	
退職給付制度移行損失		118		-	
システム利用契約解約違約金		-		63	
特別損失計			2,001		210
税引前当期純利益			11,849		8,039
法人税、住民税及び事業税			2,893		2,662
法人税等調整額			2,334		492
当期純利益			6,621		5,869

[次へ](#)

## (3) 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日)	当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
前期末残高	17,180	17,180
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	17,180	17,180
<b>資本剰余金</b>		
<b>資本準備金</b>		
前期末残高	11,729	11,729
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	11,729	11,729
<b>資本剰余金合計</b>		
前期末残高	11,729	11,729
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	11,729	11,729
<b>利益剰余金</b>		
<b>利益準備金</b>		
前期末残高	685	685
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	685	685
<b>その他利益剰余金</b>		
<b>別途積立金</b>		
前期末残高	35,606	24,606
当期変動額		
別途積立金の取崩	11,000	-
当期変動額合計	11,000	-
当期末残高	24,606	24,606
<b>繰越利益剰余金</b>		
前期末残高	16,512	7,608
当期変動額		
別途積立金の取崩	11,000	-
剰余金の配当	26,526	3,605
当期純利益	6,621	5,869
当期変動額合計	8,904	2,264

当期末残高	7,608	9,872
利益剰余金合計		
前期末残高	52,804	32,900
当期変動額		
剰余金の配当	26,526	3,605
当期純利益	6,621	5,869
当期変動額合計	19,904	2,264
当期末残高	32,900	35,164
株主資本合計		
前期末残高	81,714	61,810
当期変動額		
剰余金の配当	26,526	3,605
当期純利益	6,621	5,869
当期変動額合計	19,904	2,264
当期末残高	61,810	64,074
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	5,124	2,084
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,040	971
当期変動額合計	3,040	971
当期末残高	2,084	3,056
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	250	249
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	499	73
当期変動額合計	499	73
当期末残高	249	175
評価・換算差額等合計		
前期末残高	4,874	2,333
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,541	898
当期変動額合計	2,541	898
当期末残高	2,333	3,231
純資産合計		
前期末残高	86,589	64,143
当期変動額		
剰余金の配当	26,526	3,605
当期純利益	6,621	5,869
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,541	898
当期変動額合計	22,445	3,162

---

当期末残高

64,143

67,306

---

## [重要な会計方針]

前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日)	当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)																
<p>1. 有価証券の評価基準及び評価方法</p> <p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 ...移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 時価のあるもの... 決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております) 時価のないもの... 移動平均法による原価法</p> <p>2. デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法 時価法</p> <p>3. 金銭の信託の評価基準及び評価方法 時価法</p> <p>4. 固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 有形固定資産(リース資産を除く) 定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、定額法によっております。 主な耐用年数は以下の通りであります。</p> <table border="0" data-bbox="316 1104 616 1227"> <tr><td>建物</td><td>38～50年</td></tr> <tr><td>附属設備</td><td>8～15年</td></tr> <tr><td>構築物</td><td>20年</td></tr> <tr><td>器具備品</td><td>4～15年</td></tr> </table> <p>(2) 無形固定資産及び投資その他の資産(リース資産を除く) 定額法を採用しております。ただし、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間に基づく定額法によっております。</p> <p>(3) リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。</p> <p>5. 引当金の計上基準</p> <p>(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 賞与の支払に備えるため、支払見込額を計上しております。</p>	建物	38～50年	附属設備	8～15年	構築物	20年	器具備品	4～15年	<p>1. 有価証券の評価基準及び評価方法</p> <p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 (同左)</p> <p>(2) その他有価証券 時価のあるもの (同左)</p> <p>時価のないもの (同左)</p> <p>2. デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法 (同左)</p> <p>3. 金銭の信託の評価基準及び評価方法 (同左)</p> <p>4. 固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、定額法によっております。 主な耐用年数は以下の通りであります。</p> <table border="0" data-bbox="946 1104 1246 1227"> <tr><td>建物</td><td>38～50年</td></tr> <tr><td>附属設備</td><td>8～15年</td></tr> <tr><td>構築物</td><td>20年</td></tr> <tr><td>器具備品</td><td>4～15年</td></tr> </table> <p>(2) 無形固定資産及び投資その他の資産 定額法を採用しております。ただし、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間に基づく定額法によっております。</p> <p>5. 引当金の計上基準</p> <p>(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 なお、破綻先に対する債権3百万円については、債権額から備忘価額を控除した額を取立不能見込額として債権額から直接減額しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 (同左)</p>	建物	38～50年	附属設備	8～15年	構築物	20年	器具備品	4～15年
建物	38～50年																
附属設備	8～15年																
構築物	20年																
器具備品	4～15年																
建物	38～50年																
附属設備	8～15年																
構築物	20年																
器具備品	4～15年																

前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日)	当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)
<p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企业年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。 確定給付型企业年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。 退職一時金及び確定給付型企业年金に係る過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p> <p>6. リース取引の処理方法 リース取引開始日が平成20年 4月 1日より前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>7. ヘッジ会計 (1)ヘッジ会計の方法 ヘッジ会計は、原則として、時価評価されているヘッジ手段に係る損益を、ヘッジ対象に係る損益が認識されるまで資産または負債として繰り延べる方法によっております。 (2)ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 - 為替予約、株価指数先物 ヘッジ対象 - 投資有価証券 (3)ヘッジ方針 投資有価証券に係る為替変動リスク及び価格変動リスクをヘッジしております。 (4)ヘッジ有効性評価の方法 為替変動リスク及び価格変動リスクのヘッジにつきましては、そのリスク減殺効果を、対応するヘッジ手段ならびにヘッジ対象ごとに定期的に把握し、ヘッジの有効性を確かめております。</p> <p>8. 消費税等の会計処理方法 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当期の費用として処理しております。</p> <p>9. 連結納税制度の適用 連結納税制度を適用しております。</p>	<p>(3) 退職給付引当金 (同左)</p> <p>(4) 時効後支払損引当金 (同左)</p> <p>6. リース取引の処理方法 (同左)</p> <p>7. ヘッジ会計 (1)ヘッジ会計の方法 (同左)</p> <p>(2)ヘッジ手段とヘッジ対象 (同左)</p> <p>(3)ヘッジ方針 (同左)</p> <p>(4)ヘッジ有効性評価の方法 (同左)</p> <p>8. 消費税等の会計処理方法 (同左)</p> <p>9. 連結納税制度の適用 (同左)</p>

## [会計方針の変更]

前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日)	当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)
<p>(リース取引の処理方法)</p> <p>当事業年度より、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」(平成19年3月30日 企業会計基準委員会)及び企業会計基準適用指針第16号「リース取引に関する会計基準の適用指針」(平成19年3月30日 企業会計基準委員会)を適用しております。</p> <p>この適用により、リース取引開始日が平成20年4月1日以降の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買処理に係る方法に準じた会計処理を行い、リース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p> <p>なお、企業会計基準適用指針第16号「リース取引に関する会計基準の適用指針」(平成19年3月30日 企業会計基準委員会)第79項により、リース取引開始日が平成20年4月1日より前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>なお、これによる財政状態に与える影響はなく、損益に与える影響は軽微であります。</p>	
	<p>(退職給付の処理方法)</p> <p>「退職給付に係る会計基準」の一部改正(その3)(企業会計基準第19号 平成20年7月31日)に伴い、当事業年度から同会計基準を適用しております。なお、同会計基準の適用に伴う退職給付債務の変動はないため、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益に与える影響はありません。</p>

## [追加情報]

前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
<p>(退職給付制度の改訂)</p> <p>当社は、平成20年12月31日付で退職一時金制度から確定拠出金制度への移行を目的とした退職一時金制度の一部廃止ならびに平成21年1月1日付で適格退職年金制度から確定給付企業年金制度への移行を目的とした退職一時金・年金制度の改訂を行いました。当社は「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用しております。本改廃に伴う影響額として、特別損失118百万円を計上しております。</p> <p>この結果、税引前当期純利益が、118百万円減少しております。</p>	
	<p>(耐用年数の変更)</p> <p>当社は、翌事業年度に導入予定のシステムにより置き換えられる現行のシステムの状況等を調査した結果、一部のシステム(ソフトウェア及び器具備品)について耐用年数が実態と乖離していることが判明したため、当該資産の耐用年数を実態に合わせて変更しております。</p> <p>この結果、従来の方法と比較して、減価償却費が284百万円増加し、経常利益及び税引前当期純利益は284百万円減少しております。</p>
	<p>(賞与制度の改定)</p> <p>従業員の賞与につきましては従来6月及び12月の年2回の支給であり、賞与引当金には計算期間が10月1日から3月末日までに対応する金額を計上しておりましたが、制度改定により年1回の支給と変更となり、当事業年度末においては賞与引当金には計算期間が4月1日から3月末日までに対応する金額を計上しております。</p>

[注記事項]  
貸借対照表関係

前事業年度末 (平成21年3月31日)	当事業年度末 (平成22年3月31日)
1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれて いるものは、次のとおりであります。	1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれて いるものは、次のとおりであります。
未払金 2,119百万円	未払金 1,655百万円
未払費用 585	未払費用 1,017
2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額	2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額
建物 295百万円	建物 369百万円
器具備品 964	器具備品 1,647
合計 1,260	合計 2,017

## 損益計算書関係

前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対する ものは、次のとおりであります。	1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対する ものは、次のとおりであります。
受取配当金 7,864百万円	受取配当金 3,542百万円
支払利息 175	支払利息 98
2. 役員報酬の範囲額 役員報酬は報酬委員会決議に基づき支給されて おります。	2. 役員報酬の範囲額 (同左)
3. 固定資産除却損	3. 固定資産除却損
器具備品 0百万円	建物 7百万円
ソフトウェア 405	器具備品 5
ソフトウェア 405	ソフトウェア 4
合計 405	合計 16

## 株主資本等変動計算書関係

前事業年度(自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	前事業年度末株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株

## 2. 剰余金の配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

平成20年 5月28日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

## 普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	26,526百万円
1株当たり配当額	5,150円
基準日	平成20年 3月31日
効力発生日	平成20年 6月 2日

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成21年 5月28日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

## 普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	3,605百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	700円
基準日	平成21年 3月31日
効力発生日	平成21年 6月 1日

当事業年度(自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	前事業年度末株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成21年 5月28日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 3,605百万円

1株当たり配当額 700円

基準日 平成21年 3月31日

効力発生日 平成21年 6月 1日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成22年 5月27日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 3,605百万円

配当の原資 利益剰余金

1株当たり配当額 700円

基準日 平成22年 3月31日

効力発生日 平成22年 6月 1日

## リース取引関係

前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日)	当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)																																																				
<p>1. ファイナンス・リース取引</p> <p>(1)所有権移転外ファイナンス・リース取引(通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっているもの)</p> <p>リース資産の内容 有形固定資産(器具備品)、無形固定資産(ソフトウェア) 主として、コンピューター関連機器(サーバー等)であります。 リース資産の減価償却の方法 重要な会計方針の「4.固定資産の減価償却の方法」に記載したとおりであります。</p> <p>(2)所有権移転外ファイナンス・リース取引(通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっているもの)</p> <p>リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び期末残高相当額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="width: 20%; text-align: right;">器具備品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取得価額相当額</td> <td style="text-align: right;">1,343百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却累計額相当額</td> <td style="text-align: right;">980</td> </tr> <tr> <td>減損損失累計額相当額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">期末残高相当額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">363</td> </tr> </tbody> </table> <p>未経過リース料期末残高相当額及びリース資産減損勘定期末残高</p> <p>未経過リース料期末残高相当額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 80%;">1年以内</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">180百万円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">195</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">375</td> </tr> </tbody> </table> <p>リース資産減損勘定期末残高</p> <p style="text-align: right;">- 百万円</p> <p>支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 80%;">支払リース料</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">296百万円</td> </tr> <tr> <td>リース資産減損勘定の取崩額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">276</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">14</td> </tr> <tr> <td>減損損失</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。</p> <p>利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については利息法によっております。</p>		器具備品	取得価額相当額	1,343百万円	減価償却累計額相当額	980	減損損失累計額相当額	-	期末残高相当額	363	1年以内	180百万円	1年超	195	合計	375	支払リース料	296百万円	リース資産減損勘定の取崩額	-	減価償却費相当額	276	支払利息相当額	14	減損損失	-	<p>1. ファイナンス・リース取引</p> <p>(1)所有権移転外ファイナンス・リース取引(通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっているもの)</p> <p>該当事項はありません。</p> <p>(2)所有権移転外ファイナンス・リース取引(通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっているもの)</p> <p>リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び期末残高相当額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="width: 20%; text-align: right;">器具備品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取得価額相当額</td> <td style="text-align: right;">603百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却累計額相当額</td> <td style="text-align: right;">415</td> </tr> <tr> <td>減損損失累計額相当額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">期末残高相当額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">188</td> </tr> </tbody> </table> <p>未経過リース料期末残高相当額及びリース資産減損勘定期末残高</p> <p>未経過リース料期末残高相当額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 80%;">1年以内</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">99百万円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">96</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">195</td> </tr> </tbody> </table> <p>リース資産減損勘定期末残高</p> <p style="text-align: right;">- 百万円</p> <p>支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 80%;">支払リース料</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">187百万円</td> </tr> <tr> <td>リース資産減損勘定の取崩額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">175</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">7</td> </tr> <tr> <td>減損損失</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>減価償却費相当額の算定方法 (同左)</p> <p>利息相当額の算定方法 (同左)</p>		器具備品	取得価額相当額	603百万円	減価償却累計額相当額	415	減損損失累計額相当額	-	期末残高相当額	188	1年以内	99百万円	1年超	96	合計	195	支払リース料	187百万円	リース資産減損勘定の取崩額	-	減価償却費相当額	175	支払利息相当額	7	減損損失	-
	器具備品																																																				
取得価額相当額	1,343百万円																																																				
減価償却累計額相当額	980																																																				
減損損失累計額相当額	-																																																				
期末残高相当額	363																																																				
1年以内	180百万円																																																				
1年超	195																																																				
合計	375																																																				
支払リース料	296百万円																																																				
リース資産減損勘定の取崩額	-																																																				
減価償却費相当額	276																																																				
支払利息相当額	14																																																				
減損損失	-																																																				
	器具備品																																																				
取得価額相当額	603百万円																																																				
減価償却累計額相当額	415																																																				
減損損失累計額相当額	-																																																				
期末残高相当額	188																																																				
1年以内	99百万円																																																				
1年超	96																																																				
合計	195																																																				
支払リース料	187百万円																																																				
リース資産減損勘定の取崩額	-																																																				
減価償却費相当額	175																																																				
支払利息相当額	7																																																				
減損損失	-																																																				

2. オペレーティング・リース取引		2. オペレーティング・リース取引	
未経過リース料		未経過リース料	
1年以内	6百万円	1年以内	5百万円
1年超	3	1年超	3
合計	9	合計	8

## 金融商品関係

当事業年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

## （追加情報）

当事業年度より、「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 平成20年3月10日）及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 平成20年3月10日）を適用しております。

## 1. 金融商品の状況に関する事項

## （1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を投資有価証券として、あるいは特定金銭信託を通じ保有しております。直接または特定金銭信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資有価証券保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社からの短期借入による方針であります。

## （2）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

投資有価証券として、あるいは特定金銭信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物、スワップ取引などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	520	520	-
(2)金銭の信託	38,530	38,530	-
(3)短期貸付金	126	126	-
(4)未収委託者報酬	9,756	9,756	-
(5)有価証券及び投資有価証券			
その他有価証券	15,890	15,890	-
(6)関係会社株式	3,064	92,414	89,350
資産計	67,888	157,238	89,350
(7)関係会社短期借入金	11,000	11,000	-
(8)未払金	6,217	6,217	-
(9)未払費用	7,594	7,594	-
(10)未払法人税等	849	849	-
負債計	25,662	25,662	-
(11)デリバティブ取引			
ヘッジ会計が適用されていないもの	-	-	-
ヘッジ会計が適用されているもの	86	86	-
デリバティブ取引計	86	86	-

(\*) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

## (1) 現金・預金、(3)短期貸付金、(4)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## (2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価格、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## (5) 有価証券及び投資有価証券

## その他有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、投資信託は基準価格によっております。また、譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、帳簿価額によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6) 関係会社株式

取引所の価格によっております。

(7) 関係会社短期借入金、(8) 未払金、(9) 未払費用、(10) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(11) デリバティブ取引

「デリバティブ取引関係」注記を参照ください。

注2：非上場株式（貸借対照表計上額：投資有価証券824百万円、関係会社株式13,035百万円）は、市場価格がなく、かつキャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。なお、当事業年度において、非上場株式について70百万円減損処理を行っております。

注3：金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	519	-	-	-
金銭の信託	38,530	-	-	-
短期貸付金	126	-	-	-
未収委託者報酬	9,756	-	-	-
有価証券及び投資有価証券	5,100	0	997	-
合計	54,032	0	997	-

有価証券関係

前事業年度（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）

1. 売買目的有価証券(平成21年3月31日)

該当事項はありません。

2. 満期保有目的の債券で時価のあるもの(平成21年3月31日)

該当事項はありません。

3. 子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの(平成21年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
関連会社株式	3,064	66,382	63,318
合計	3,064	66,382	63,318

## 4. その他有価証券で時価のあるもの(平成21年3月31日)

区分	取得原価 (百万円)	貸借対照表 計上額 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
(1)株式	282	4,020	3,737
(2)債券(社債)	-	-	-
(3)その他( 1)	3,551	3,846	295
小計	3,834	7,867	4,032
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
(1)株式	-	-	-
(2)債券(社債)	-	-	-
(3)その他	2,334	1,833	500
小計	2,334	1,833	500
合計	6,168	9,701	3,532

- ( 1 ) 当事業年度末において、投資有価証券に係る為替変動リスク及び価格変動リスクをヘッジするための為替予約取引及び株価指数先物取引についてヘッジ会計を適用しております。対応する繰延ヘッジ利益は249百万円（税効果会計適用後）であり、貸借対照表に計上しております。

## 5. 当事業年度中に売却したその他有価証券

区分	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
売却額	11,200百万円
売却益の合計額	1,085百万円
売却損の合計額	1,471百万円

## 6. 時価評価されていない主な有価証券(上記2.及び3.を除く)

区分	貸借対照表計上額(百万円)
(1) その他有価証券	
譲渡性預金	3,400
非上場株式	992
合計	4,392
(2) 子会社株式及び関連会社株式	
子会社株式	4,411
関連会社株式	8,267
合計	12,679

## 7. その他有価証券のうち満期があるもの及び満期保有目的の債券の今後の償還予定額

(平成21年3月31日)

	1年以内 (百万円)	1年超5年以内 (百万円)	5年超10年以内 (百万円)	10年超 (百万円)
1. 債券				
(1) 国債・地方債等	-	-	-	-
(2) 社債	-	-	-	-
(3) その他	-	-	-	-
2. その他	3,400	1	1,017	-
合計	3,400	1	1,017	-

(注) その他有価証券で時価のあるものについての減損処理にあたっては、当事業年度末時価が取得価額より30%以上下落したものについて、原則として下落額について評価減を行なうこととしております。

当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

## 1. 売買目的有価証券(平成22年3月31日)

該当事項はありません。

## 2. 満期保有目的の債券(平成22年3月31日)

該当事項はありません。

## 3. 子会社株式及び関連会社株式(平成22年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
関連会社株式	3,064	92,414	89,350
合計	3,064	92,414	89,350

## 4．その他有価証券(平成22年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	5,656	282	5,373
投資信託( 1 )	3,103	3,001	102
小計	8,759	3,283	5,475
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
投資信託	2,031	2,326	295
譲渡性預金	5,100	5,100	-
小計	7,131	7,426	295
合計	15,890	10,710	5,179

- ( 1 ) 当事業年度末において、投資有価証券に係る為替変動リスク及び価格変動リスクをヘッジするための為替予約取引及び株価指数先物取引についてヘッジ会計を適用しております。対応する繰延ヘッジ利益は175百万円（税効果会計適用後）であり、貸借対照表に計上しております。

## 5．事業年度中に売却したその他有価証券（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

区分	売却額(百万円)	売却益の合計額(百万円)	売却損の合計額(百万円)
株式	38	-	60
投資信託	626	72	0
合計	664	72	60

## デリバティブ取引関係

前事業年度（自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）

## 1. 取引の状況に関する事項

## (1) 取引の内容及び利用目的

当社が利用しているデリバティブ取引は、為替予約取引、株価指数先物取引及びスワップ取引であり、当社が保有する投資有価証券に係る為替変動リスク及び価格変動リスクを軽減するために利用しております。

なお、デリバティブ取引を利用して、ヘッジ会計を行っております。

ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段 - 為替予約、株価指数先物

ヘッジ対象 - 投資有価証券

ヘッジ方針

投資有価証券に係る為替変動リスク及び価格変動リスクをヘッジしております。

ヘッジ有効性評価の方法

為替変動リスク及び価格変動リスクのヘッジにつきましては、そのリスク減殺効果を、対応するヘッジ手段ならびにヘッジ対象ごとに定期的に把握し、ヘッジの有効性を確かめております。

## (2) 取引に対する取組方針

デリバティブ取引については、将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資有価証券保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

## (3) 取引に係るリスクの内容

為替予約取引は為替相場の変動によるリスクを、株価指数先物取引及びスワップ取引は価格の変動によるリスクを有しております。

## (4) 取引に係るリスク管理体制

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部で行っております。財務部長は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。また、取引結果及び損益状況については、定期的にヘッジ対象である投資有価証券の信託契約先から報告を受け、財務部で内容を検討しております。

## 2. 取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

なお、為替予約取引及び株価指数先物取引を行っておりますが、いずれもヘッジ会計を適用しておりますので注記の対象から除いております。

当事業年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

## 1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

該当事項はありません。

## 2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

## (1) 通貨関連

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等	契約額のうち1年超	時価	当該時価の算定方法
原則的処理方法	為替予約取引	投資信託	3,082	-	17	先物為替相場によっている
合 計			3,082	-	17	

## (2) 株式関連

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等	契約額のうち1年超	時価	当該時価の算定方法
原則的処理方法	株価指数先物取引	投資信託	967	-	68	取引所の価格によっている
合 計			967	-	68	

## 退職給付関係

前事業年度(自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日)	
1. 採用している退職給付制度の概要	
<p>当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。</p> <p>当社は、平成20年12月31日付で退職一時金制度から確定拠出金制度への移行を目的とした退職一時金制度の一部廃止ならびに平成21年 1月 1日付で適格退職年金制度から確定給付型企业年金制度への移行を目的とした退職一時金・年金制度の改訂を行いました。</p>	
2. 退職給付債務に関する事項(平成21年 3月31日)	
イ. 退職給付債務	11,783百万円
ロ. 年金資産	5,456
ハ. 未積立退職給付債務(イ+ロ)	6,327
ニ. 会計基準変更時差異の未処理額	
ホ. 未認識数理計算上の差異	2,400
ヘ. 未認識過去勤務債務(債務の増額)	693
ト. 貸借対照表計上額純額(ハ+ニ+ホ+ヘ)	4,620
チ. 前払年金費用	
リ. 退職給付引当金(ト-チ)	4,620
3. 退職給付費用に関する事項(自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日)	
イ. 勤務費用	611百万円
ロ. 利息費用	277
ハ. 期待運用収益	139
ニ. 会計基準変更時差異の費用処理額	
ホ. 数理計算上の差異の費用処理額	300
ヘ. 過去勤務債務の費用処理額	3
ト. 退職給付費用(イ+ロ+ハ+ニ+ホ+ヘ)	1,053
チ. その他(注)	70
計	1,124
(注) 確定拠出年金への掛金支払額であります。	
4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項	
イ. 退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
ロ. 割引率	2.1%
ハ. 期待運用収益率	2.5%
ニ. 過去勤務債務の額の処理年数	16年(発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、費用処理することとしております。)
ホ. 数理計算上の差異の処理年数	(1) 退職一時金に係るもの 1年(発生時の翌期に費用処理することとしております。) (2) 退職年金に係るもの 16年(発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、翌期から費用処理することとしております。)
ヘ. 会計基準変更時差異の処理年数	該当はありません。
(追加情報)	
<p>基準となる従業員の平均残存勤務期間が減少したことにより、過去勤務債務の額の処理年数および退職年金に係る数理計算上の差異の処理年数を18年から16年に変更しております。この変更に伴う影響額は軽微であります。</p>	

当事業年度(自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)

## 1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

## 2. 退職給付債務に関する事項(平成22年 3月31日)

イ. 退職給付債務	12,427百万円
ロ. 年金資産	6,488
ハ. 未積立退職給付債務(イ + ロ)	5,938
ニ. 会計基準変更時差異の未処理額	
ホ. 未認識数理計算上の差異	2,015
ヘ. 未認識過去勤務債務(債務の増額)	653
ト. 貸借対照表計上額純額(ハ + ニ + ホ + ヘ)	4,576
チ. 前払年金費用	
リ. 退職給付引当金(ト - チ)	4,576

## 3. 退職給付費用に関する事項(自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)

イ. 勤務費用	524百万円
ロ. 利息費用	247
ハ. 期待運用収益	136
ニ. 会計基準変更時差異の費用処理額	
ホ. 数理計算上の差異の費用処理額	357
ヘ. 過去勤務債務の費用処理額	40
ト. 退職給付費用(イ + ロ + ハ + ニ + ホ + ヘ)	952
チ. その他(注)	163
計	1,116

(注) 確定拠出年金への掛金支払額であります。

## 4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

イ. 退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
ロ. 割引率	2.1%
ハ. 期待運用収益率	2.5%
ニ. 過去勤務債務の額の処理年数	16年(発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、費用処理することとしております。)
ホ. 数理計算上の差異の処理年数	(1) 退職一時金に係るもの 1年(発生時の翌期に費用処理することとしております。) (2) 退職年金に係るもの 16年(発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、翌期から費用処理することとしております。)
ヘ. 会計基準変更時差異の処理年数	該当はありません。

## 税効果会計関係

前事業年度末 (平成21年3月31日)	当事業年度末 (平成22年3月31日)
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳	1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳
繰延税金資産 百万円	繰延税金資産 百万円
退職給付引当金 1,894	退職給付引当金 1,876
所有株式税務簿価通算差異 884	賞与引当金 1,040
投資有価証券評価減 616	所有株式税務簿価通算差異 884
ゴルフ会員権評価減 510	投資有価証券評価減 614
賞与引当金 442	ゴルフ会員権評価減 510
未払確定拠出年金掛金 328	減価償却超過額 369
タックスヘイブン税制 271	未払確定拠出年金掛金 217
減価償却超過額 262	子会社株式売却損 196
子会社株式売却損 196	時効後支払損引当金 194
時効後支払損引当金 189	その他 268
その他 85	繰延税金資産小計 6,173
繰延税金資産小計 5,682	評価性引当金 1,923
評価性引当金 1,924	繰延税金資産計 4,250
繰延税金資産計 3,757	繰延税金負債
繰延税金負債	繰延ヘッジ利益 122
繰延ヘッジ利益 173	有価証券評価差額金 2,123
有価証券評価差額金 1,448	繰延税金負債計 2,245
繰延税金負債計 1,621	繰延税金資産(純額) 2,004
繰延税金資産(純額) 2,136	
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳
法定実効税率 41.0%	法定実効税率 41.0%
(調整)	(調整)
交際費等永久に損金に算入されない項目 0.6%	交際費等永久に損金に算入されない項目 1.4%
受取配当金等永久に益金に算入されない項目 7.0%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目 9.2%
住民税等均等割 0.0%	住民税等均等割 0.0%
タックスヘイブン税制 0.1%	タックスヘイブン税制 3.5%
外国税額控除 5.9%	外国税額控除 2.4%
評価性引当金の増減額 16.2%	その他 0.3%
その他 0.7%	税効果会計適用後の法人税等の負担率 27.0%
税効果会計適用後の法人税等の負担率 44.1%	

## 関連当事者情報

前事業年度(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

## (追加情報)

当事業年度から平成18年10月17日公表の、「関連当事者の開示に関する会計基準」（企業会計基準委員会 企業会計基準第11号）及び「関連当事者の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 企業会計基準第13号）を適用しております。

なお、開示対象範囲に影響はありません。

## 1. 関連当事者との取引

## (ア) 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
親会社	野村ホールディングス株式会社	東京都中央区	321,764	持株会社	(被所有) 直接 100%	資産の賃貸借等	資金の借入(*1)	228,500	関係会社 短期 借入金	12,000
							資金の返済	216,500		
							借入金利息の支払	168	未払費用	1

## (イ) 関連会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
関連会社	株式会社野村総合研究所	東京都千代田区	18,600	情報サービス業	(所有) 直接 22.3%	サービス・製品の購入	自社利用のソフトウェア開発の委託(*2)	10,001	未払費用	79

## (ウ) 兄弟会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
親会社の子会社	野村証券株式会社	東京都中央区	10,000	証券業		当社投資信託の募集の取扱及び売上の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払(*3)	28,694	未払手数料	2,628

親会社の子会社	野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社	東京都千代田区	400	投資顧問業		当社投資信託の運用委託	投資信託の運用に係る投資顧問料の支払(*4)	4,926	未払費用	1,064
---------	----------------------------	---------	-----	-------	--	-------------	------------------------	-------	------	-------

(エ) 役員及び個人主要株主等  
該当はありません。

- (注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれておりません。
2. 取引条件及び取引条件の決定方針等
- (\*1) 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。
  - (\*2) ソフトウェア開発については、調査・研究に要する費用や開発工数等を勘案し、総合的に決定しております。
  - (\*3) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。
  - (\*4) 投資信託の運用に係る投資顧問料については、一般取引条件と同様に決定しております。

## 2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

### (1) 親会社情報

野村ホールディングス(株) (東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場)

### (2) 重要な関連会社の要約財務諸表

当事業年度において、重要な関連会社は(株)野村総合研究所及び野村土地建物(株)であり、その要約財務諸表は以下のとおりであります。

	(百万円)	
	(株)野村総合研究所	野村土地建物(株)
流動資産合計	106,717	1,407
固定資産合計	234,028	77,297
流動負債合計	76,798	7,947
固定負債合計	79,131	11,845
純資産合計	184,815	58,910
売上高	324,697	2,744
税引前当期純利益	38,648	2,947
当期純利益	20,583	2,564

当事業年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

## 1. 関連当事者との取引

## (ア) 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
親会社	野村ホールディングス株式会社	東京都中央区	594,492	持株会社	(被所有) 直接 100%	資産の賃貸 借等 役員の兼任	資金の借入(*1)	168,000	関係会社 短期 借入金	11,000
							資金の返済	169,000		
							借入金利息の支払	98	未払費用	3

## (イ) 関連会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
関連会社	株式会社野村総合研究所	東京都千代田区	18,600	情報サービス業	(所有) 直接 22.3%	サービス・製品の購入	自社利用のソフトウェア開発の委託(*2)	6,866	未払費用	0

## (ウ) 兄弟会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
親会社の子会社	野村証券株式会社	東京都中央区	10,000	証券業		当社投資信託の募集の取扱及び売上の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払(*3)	26,417 (注)3	未払手数料	3,469
親会社の子会社	野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社	東京都中央区	400	投資顧問業		当社投資信託の運用委託 役員の兼任	投資信託の運用に係る投資顧問料の支払(*4)	3,263	未払費用	940

(エ) 役員及び個人主要株主等  
該当はありません。

- (注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれておりません。
2. 取引条件及び取引条件の決定方針等
- (\*1) 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。
  - (\*2) ソフトウェア開発については、調査・研究に要する費用や開発工数等を勘案し、総合的に決定しております。
  - (\*3) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。
  - (\*4) 投資信託の運用に係る投資顧問料については、一般取引条件と同様に決定しております。
3. 平成21年11月23日付で野村証券(株)はジョインベスト証券(株)を吸収合併しており、当社とジョインベスト証券(株)の取引は野村証券(株)に引継がれております。野村証券(株)との取引金額には、合併前のジョインベスト証券(株)と当社の取引金額を含んでおります。

## 2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

### (1) 親会社情報

野村ホールディングス(株)（東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場）

### (2) 重要な関連会社の要約財務諸表

当事業年度において、重要な関連会社は(株)野村総合研究所及び野村土地建物(株)であり、その要約財務諸表は以下のとおりであります。

	(百万円)	
	(株)野村総合研究所	野村土地建物(株)
流動資産合計	128,800	5,765
固定資産合計	228,173	78,723
流動負債合計	76,471	8,010
固定負債合計	76,265	12,507
純資産合計	204,237	63,970
売上高	325,646	2,546
税引前当期純利益	40,539	4,841
当期純利益	26,416	4,445

## 1株当たり情報

前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)		当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	
1株当たり純資産額	12,453円43銭	1株当たり純資産額	13,067円44銭
1株当たり当期純利益	1,285円61銭	1株当たり当期純利益	1,139円63銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
1株当たり当期純利益の算定上の基礎		1株当たり当期純利益の算定上の基礎	
損益計算書上の当期純利益	6,621百万円	損益計算書上の当期純利益	5,869百万円
普通株式に係る当期純利益	6,621百万円	普通株式に係る当期純利益	5,869百万円
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。		普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。	
普通株式の期中平均株式数	5,150,693株	普通株式の期中平均株式数	5,150,693株

## 中間財務諸表

## 中間貸借対照表

		平成22年9月30日現在
区分	注記 番号	金額(百万円)
(資産の部)		
流動資産		
現金・預金		1,452
金銭の信託		38,874
有価証券		2,300
短期貸付金		186
未収委託者報酬		10,177
未収収益		3,318
繰延税金資産		1,118
その他		260
貸倒引当金		6
流動資産計		57,681
固定資産		
有形固定資産	1	1,609
無形固定資産		11,109
ソフトウェア		11,106
その他		2
投資その他の資産		26,021
投資有価証券		8,177
関係会社株式		16,099
繰延税金資産		937
その他		807
貸倒引当金		0
固定資産計		38,740
資産合計		96,421

		平成22年 9月30日現在
区分	注記 番号	金額(百万円)
(負債の部)		
流動負債		
関係会社短期借入金		10,000
未払収益分配金		4
未払償還金		60
未払手数料		4,495
その他未払金	2	1,878
未払費用		7,118
未払法人税等		669
賞与引当金		1,518
その他		93
流動負債計		25,839
固定負債		
退職給付引当金		4,520
時効後支払損引当金		482
その他		22
固定負債計		5,025
負債合計		30,865
(純資産の部)		
株主資本		63,157
資本金		17,180
資本剰余金		11,729
資本準備金		11,729
利益剰余金		34,247
利益準備金		685
その他利益剰余金		33,561
別途積立金		24,606
繰越利益剰余金		8,955
評価・換算差額等		2,399
その他有価証券評価差額金		2,415
繰延ヘッジ損益		16
純資産合計		65,556
負債・純資産合計		96,421

## 中間損益計算書

		自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日
区分	注記 番号	金額(百万円)
営業収益		
委託者報酬		39,377
運用受託報酬		5,636
その他営業収益		61
営業収益計		45,075
営業費用		
支払手数料		18,603
調査費		10,459
その他営業費用		2,321
営業費用計		31,385
一般管理費	1	12,045
営業利益		1,645
営業外収益	2	3,121
営業外費用	3	48
経常利益		4,718
特別利益	4	513
特別損失	5	155
税引前中間純利益		5,077
法人税、住民税及び事業税		1,862
法人税等調整額		527
中間純利益		2,687

## 中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間

（単位：百万円）

	自 平成22年 4月 1日
	至 平成22年 9月30日
<b>株主資本</b>	
<b>資本金</b>	
前期末残高	17,180
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	17,180
<b>資本剰余金</b>	
<b>資本準備金</b>	
前期末残高	11,729
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	11,729
<b>資本剰余金合計</b>	
前期末残高	11,729
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	11,729
<b>利益剰余金</b>	
<b>利益準備金</b>	
前期末残高	685
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	685
<b>その他利益剰余金</b>	
<b>別途積立金</b>	
前期末残高	24,606
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	24,606
<b>繰越利益剰余金</b>	
前期末残高	9,872
当中間期変動額	
剰余金の配当	3,605
中間純利益	2,687
当中間期変動額合計	917
当中間期末残高	8,955
<b>利益剰余金合計</b>	
前期末残高	35,164

当中間期変動額	
剰余金の配当	3,605
中間純利益	2,687
当中間期変動額合計	917
当中間期末残高	34,247
株主資本合計	
前期末残高	64,074
当中間期変動額	
剰余金の配当	3,605
中間純利益	2,687
当中間期変動額合計	917
当中間期末残高	63,157
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	3,056
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	640
当中間期変動額合計	640
当中間期末残高	2,415
繰延ヘッジ損益	
前期末残高	175
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	192
当中間期変動額合計	192
当中間期末残高	16
評価・換算差額等合計	
前期末残高	3,231
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	832
当中間期変動額合計	832
当中間期末残高	2,399
純資産合計	
前期末残高	67,306
当中間期変動額	
剰余金の配当	3,605
中間純利益	2,687
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	832
当中間期変動額合計	1,749
当中間期末残高	65,556

## [中間財務諸表作成の基本となる重要な事項]

	自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日
1 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>子会社株式及び関連会社株式... 移動平均法による原価法          その他有価証券          時価のあるもの... 中間決算日の市場価格等に基づく時価法          (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております)          時価のないもの... 移動平均法による原価法</p>
2 デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法	時価法
3 金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法
4 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産          定率法を採用しております。ただし、平成10年 4月 1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、定額法によっております。</p> <p>(2) 無形固定資産及び投資その他の資産          定額法を採用しております。ただし、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間に基づく定額法によっております。</p>
5 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金          一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金          賞与の支払に備えるため、支払見込額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金          従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企業年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。          確定給付型企業年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。          退職一時金及び確定給付型企業年金に係る過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金          時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p>
6 リース取引の処理方法	<p>リース取引開始日が平成20年 4月 1日より前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p>

	自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日
7 ヘッジ会計の方法	(1) ヘッジ会計の方法 ヘッジ会計は、原則として、時価評価されているヘッジ手段に係る損益を、ヘッジ対象に係る損益が認識されるまで資産または負債として繰り延べる方法によっております。 また、為替予約が付されている外貨建金銭債権については、振当処理を行っております。 (2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 - 為替予約 ヘッジ対象 - 投資有価証券、短期貸付金 (3) ヘッジ方針 投資有価証券及び短期貸付金に係る為替変動リスクをヘッジしております。 (4) ヘッジ有効性評価の方法 為替変動リスクのヘッジにつきましては、そのリスク減殺効果を、対応するヘッジ手段ならびにヘッジ対象ごとに定期的に把握し、ヘッジの有効性を確かめております。
8 消費税等の会計処理	消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。
9 連結納税制度の適用	連結納税制度を適用しております。

## [中間財務諸表作成の基本となる重要な事項の変更]

	自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日
資産除去債務に関する会計基準	当中間会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年 3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年 3月31日）を適用しております。 これによる損益への影響はありません。

## [注記事項]

## 中間貸借対照表関係

平成22年 9月30日現在	
1 有形固定資産の減価償却累計額	2,221百万円
2 消費税等の取扱い	仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他未払金」に含めて表示しております。

## 中間損益計算書関係

自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日	
1 減価償却実施額	
有形固定資産	205百万円
無形固定資産	2,093百万円
長期前払費用	4百万円
2 営業外収益のうち主要なもの	
受取配当金	1,346百万円
金銭の信託運用益	1,554百万円
3 営業外費用のうち主要なもの	
支払利息	38百万円
4 特別利益の内訳	
投資有価証券売却益	419百万円
株式報酬受入益	94百万円
5 特別損失の内訳	
投資有価証券売却損	149百万円
投資有価証券等評価損	6百万円

## 中間株主資本等変動計算書関係

自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日					
1 発行済株式に関する事項					
	株式の種類	平成22年 3月末	増加	減少	平成22年 9月末
	普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株
2 配当に関する事項					
	配当金支払額				
	平成22年 5月27日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。				
	・ 普通株式の配当に関する事項				
	(1) 配当金の総額		3,605百万円		
	(2) 1株当たり配当額		700円		
	(3) 基準日		平成22年 3月31日		
	(4) 効力発生日		平成22年 6月 1日		

## リース取引関係

自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日	
1 ファイナンス・リース取引	
(1) 所有権移転外ファイナンス・リース取引(通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっているもの) 該当事項はありません。	
(2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引(通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっているもの) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額	
有形固定資産（器具備品）	
取得価額相当額	460百万円
減価償却累計額相当額	325
中間期末残高相当額	135
未経過リース料中間期末残高相当額	
1年内	88百万円
1年超	53
合計	141
支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額	
支払リース料	56百万円
減価償却費相当額	52
支払利息相当額	2
減価償却費相当額の算定方法	
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。	
利息相当額の算定方法	
リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については利息法によっております。	
2 オペレーティング・リース取引	
未経過リース料	
1年内	7百万円
1年超	7
合計	14

## 金融商品関係

当中間会計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）

## 金融商品の時価等に関する事項

平成22年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

（単位：百万円）

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	1,452	1,452	-
(2)金銭の信託	38,874	38,874	-
(3)短期貸付金	186	186	-
(4)未収委託者報酬	10,177	10,177	-
(5)有価証券及び投資有価証券			
その他有価証券	9,681	9,681	-
(6)関係会社株式	3,064	68,074	65,010
資産計	63,436	128,446	65,010
(7)関係会社短期借入金	10,000	10,000	-
(8)未払金	6,439	6,439	-
未払収益分配金	4	4	-
未払償還金	60	60	-
未払手数料	4,495	4,495	-
その他未払金	1,878	1,878	-
(9)未払費用	7,118	7,118	-
(10)未払法人税等	669	669	-
負債計	24,227	24,227	-
(11)デリバティブ取引（*）			
ヘッジ会計が適用されていないもの	-	-	-
ヘッジ会計が適用されているもの	22	22	-
デリバティブ取引計	22	22	-

（\*）デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

（1）現金・預金、(3)短期貸付金、(4)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。ただし、短期貸付金は為替予約等の振当処理の対象とされており、円貨建債権とみて当該帳簿価額を以って時価としております。「デリバティブ取引関係」注記を参照ください。

## (2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価格、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## (5) 有価証券及び投資有価証券

## その他有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、投資信託は基準価格によっております。また、譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、帳簿価額によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

## (6) 関係会社株式

取引所の価格によっております。

## (7) 関係会社短期借入金、(8) 未払金、(9) 未払費用、(10) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## (11) デリバティブ取引

「デリバティブ取引関係」注記を参照ください。

注2：非上場株式（中間貸借対照表計上額：投資有価証券796百万円、関係会社株式13,035百万円）は、市場価格がなく、かつキャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

## 有価証券関係

## 当中間会計期間末（平成22年9月30日）

## 1. 満期保有目的の債券(平成22年9月30日)

該当事項はありません。

## 2. 子会社株式及び関連会社株式(平成22年9月30日)

区分	中間貸借対照表 計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
関連会社株式	3,064	68,074	65,010
合計	3,064	68,074	65,010

## 3. その他有価証券(平成22年9月30日)

区分	中間貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
中間貸借対照表計上額 が取得原価を超えるもの			
株式	4,541	282	4,258
投資信託	1	1	0
小計	4,542	283	4,258
中間貸借対照表計上額 が取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
投資信託( 1 )	2,839	3,003	163
譲渡性預金	2,300	2,300	-
小計	5,139	5,303	163
合計	9,681	5,586	4,094

- ( 1 ) 当中間会計期間において、投資有価証券に係る為替変動リスクをヘッジするための為替予約取引についてヘッジ会計を適用しております。対応する繰延ヘッジ利益は 16百万円（税効果会計適用後）であり、中間貸借対照表に計上しております。

## デリバティブ取引関係

当中間会計期間（自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日）

## 1．ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

該当事項はありません。

## 2．ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

## （1）通貨関連

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等	契約額のうち1年超	時価	当該時価の算定方法
原則的処理方法	為替予約取引	投資信託	2,809	-	22	先物為替相場によっている
為替予約等の振当処理	為替予約取引	短期貸付金	186	-	(*1) -	-
合 計			2,996	-	(*1) 22	-

(\*1) 為替予約等の振当処理によるものは、ヘッジ対象とされている短期貸付金と一体として処理されるため、その時価は当該短期貸付金の時価に含めて記載しております。

## セグメント情報等

当中間会計期間(自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)

## 1．セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントである為、記載を省略しております。

## 2．関連情報

## (1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、中間損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

## (2) 地域ごとの情報

## 売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

## 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

### (3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

### (追加情報)

当中間会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## 1 株当たり情報

自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日	
1 株当たり純資産額	12,727円70銭
1 株当たり中間純利益	521円87銭
(注) 1 . 潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益につきましては、新株予約権付社債等潜在株式がないため、記載しておりません。	
2 . 1 株当たり中間純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。	
中間純利益	2,687百万円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る中間純利益	2,687百万円
期中平均株式数	5,150千株

## (3)【中間注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	第8期中間計算期間 自 平成21年4月 1 日 至 平成21年9月30日	第9期中間計算期間 自 平成22年4月 1 日 至 平成22年9月30日
1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。	(1) 親投資信託受益証券 同左
2 費用・収益の計上基準	(1) 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	(1) 有価証券売買等損益の計上基準 同左
3 その他	当ファンドの計算期間は、平成21年4月 1 日から平成22年3月31日までとなっております。 なお、当該中間計算期間は、平成21年4月 1 日から平成21年9月30日までとなっております。	当ファンドの計算期間は、平成22年4月 1 日から平成23年3月31日までとなっております。 なお、当該中間計算期間は、平成22年4月 1 日から平成22年9月30日までとなっております。

## (中間貸借対照表に関する注記)

第8期中間計算期間末 平成21年9月30日現在	第9期中間計算期間末 平成22年9月30日現在
1 中間計算期間の末日における受益権の総数 9,425,289,307 口	1 中間計算期間の末日における受益権の総数 10,872,936,799 口
2 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1648 円 (10,000口当たり純資産額 11,648 円)	2 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1661 円 (10,000口当たり純資産額 11,661 円)

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

第8期中間計算期間末 平成21年9月30日現在	第9期中間計算期間末 平成22年9月30日現在
	1 中間貸借対照表計上額、時価及び差額 中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
	2 時価の算定方法 親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
	3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

## (その他の注記)

## 1 元本の移動

第8期中間計算期間 自 平成21年4月 1 日 至 平成21年9月30日	第9期中間計算期間 自 平成22年4月 1 日 至 平成22年9月30日
期首元本額 8,859,342,966 円	期首元本額 10,202,527,801 円
期中追加設定元本額 911,764,778 円	期中追加設定元本額 1,023,900,457 円
期中一部解約元本額 345,818,437 円	期中一部解約元本額 353,491,459 円

## 2 デリバティブ取引関係

第8期中間計算期間末(平成21年9月30日現在)

該当事項はございません。

第9期中間計算期間末(平成22年9月30日現在)

該当事項はございません。

参考

国内株式マザーファンド  
外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド  
国内債券NOMURA-BPI総合マザーファンド  
外国債券マザーファンド

当ファンドは「国内株式マザーファンド」、「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」、「国内債券NOMURA-BPI総合マザーファンド」および「外国債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。  
尚、同親投資信託の状況は次の通りです。

- 1 「国内株式マザーファンド」の状況  
以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

## (1) 貸借対照表

対象年月日	平成22年9月30日現在
科目	金額(円)
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	5,547,945,432
株式	140,659,316,132
派生商品評価勘定	37,500,640
未収入金	56,760,034
未収配当金	1,188,081,585
未収利息	6,866
その他未収収益	1,755,241
差入委託証拠金	14,615,000
流動資産合計	147,505,980,930
資産合計	147,505,980,930
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	22,681,780
未払金	1,313,468
未払解約金	78,735,334
未払利息	255,573
有価証券貸借取引受入金	3,480,115,378
流動負債合計	3,583,101,533
負債合計	3,583,101,533
純資産の部	
元本等	
元本	209,102,371,916
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金( )	65,179,492,519
元本等合計	143,922,879,397
純資産合計	143,922,879,397
負債純資産合計	147,505,980,930

## (2)注記表

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	自 平成22年4月 1 日 至 平成22年9月30日
1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 株式 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価額のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 (2) 先物取引 取引所の発表する計算日の清算値段を用いております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益及び派生商品取引等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。

## (貸借対照表に関する注記)

平成22年9月30日現在	
1 元本の欠損の額	65,179,492,519 円
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 (10,000口当たり純資産額)	0.6883 円 6,883 円)
3 有価証券の消費貸借契約により貸し付けた有価証券	3,283,033,052 円

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

平成22年9月30日現在	
1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額は ありません。	
2 時価の算定方法 株式 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 派生商品評価勘定 先物取引 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価と しております。	
3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含ま れております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によ った場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または 計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引の市場リスクの大きさを示すものではありません。	

## (その他の注記)

平成22年9月30日現在

1 元本の移動及び期末元本額の内訳	
期首	平成22年4月 1 日
期首元本額	195,131,722,501 円
期首より平成22年9月30日までの期中追加設定元本額	24,981,633,218 円
期首より平成22年9月30日までの期中一部解約元本額	11,010,983,803 円
期末元本額	209,102,371,916 円
期末元本額の内訳*	
バランスセレクト30	387,746,485 円
バランスセレクト50	866,877,006 円
バランスセレクト70	664,635,407 円
国内債券・株式バランスファンド	2,500,478,196 円
野村世界6資産分散投信(安定コース)	3,391,963,629 円
野村世界6資産分散投信(分配コース)	23,785,813,024 円
野村世界6資産分散投信(成長コース)	22,832,932,491 円
野村資産設計ファンド2015	672,889,433 円
野村資産設計ファンド2020	302,917,473 円
野村資産設計ファンド2025	309,466,255 円
野村資産設計ファンド2030	258,673,005 円
野村資産設計ファンド2035	197,002,541 円
野村資産設計ファンド2040	830,491,524 円
野村日本株インデックス(野村投資一任口座向け)	387,390,805 円
のむらップ・ファンド(保守型)	658,008 円
のむらップ・ファンド(普通型)	6,380,484 円
のむらップ・ファンド(積極型)	4,225,063 円
野村資産設計ファンド2045	1,104,199 円
グローバル・インデックス・バランス25VA(適格機関投資家専用)	13,014,248,866 円
グローバル・インデックス・バランス50VA(適格機関投資家専用)	2,187,731,542 円
グローバル・インデックス・バランス40VA(適格機関投資家専用)	15,895,725,621 円
グローバル・インデックス・バランス60VA(適格機関投資家専用)	4,390,365,820 円
ワールド・インデックス・ファンドVA安定型(適格機関投資家専用)	26,711,712 円
ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型(適格機関投資家専用)	100,749,347 円
ワールド・インデックス・ファンドVA積極型(適格機関投資家専用)	52,938,011 円
野村インデックス・バランス60VA(適格機関投資家専用)	17,596,821,391 円
野村ワールド・インデックス・バランス35VA(適格機関投資家専用)	1,146,718,153 円
野村ワールド・インデックス・バランス50VA(適格機関投資家専用)	7,766,258,296 円
野村日本株式インデックスファンド(適格機関投資家専用)	2,376,338,491 円
野村・国内株式インデックスファンド・VAS(適格機関投資家専用)	5,097,668,204 円
野村世界インデックス・バランス40VA(適格機関投資家専用)	1,830,979,029 円
野村グローバル・インデックス・バランス25VA(適格機関投資家専用)	210,878,811 円
野村グローバル・インデックス・バランス50VA(適格機関投資家専用)	876,232,141 円
野村グローバル・インデックス・バランス75VA(適格機関投資家専用)	12,555,401,469 円
野村世界バランス25VA(適格機関投資家専用)	2,011,214,243 円
ノムラ日本株式インデックスファンドVA(適格機関投資家専用)	448,992,161 円
バランスセレクト30(確定拠出年金向け)	7,749,002 円
バランスセレクト50(確定拠出年金向け)	39,049,578 円
バランスセレクト70(確定拠出年金向け)	39,105,897 円
国内債券・株式バランスファンド(確定拠出年金向け)	87,112,045 円
マイバランス30(確定拠出年金向け)	3,679,378,201 円
マイバランス50(確定拠出年金向け)	10,034,769,037 円
マイバランス70(確定拠出年金向け)	14,303,301,562 円
野村国内株式インデックスファンド・TOPIX(確定拠出年金向け)	30,889,775,017 円
マイバランスDC30	868,990,294 円
マイバランスDC50	1,151,339,571 円
マイバランスDC70	872,756,108 円
野村DC国内株式インデックスファンド・TOPIX	2,141,427,268 円

\*当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

2 「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」の状況  
以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

(1)貸借対照表

科目	対象年月日	平成22年9月30日現在 金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金		1,939,933,208
コール・ローン		680,225,212
株式		211,017,624,605
新株予約権証券		1,266,495
投資信託受益証券		275,521,835
投資証券		3,338,108,538
派生商品評価勘定		52,935,125
未収入金		50,877,649
未収配当金		360,776,999
未収利息		2,174
差入委託証拠金		1,414,934,071
流動資産合計		219,132,205,911
資産合計		
		219,132,205,911
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		13,838,471
未払金		35,134,542
未払解約金		81,742,442
その他未払費用		2,049,100
流動負債合計		132,764,555
負債合計		
		132,764,555
純資産の部		
元本等		
元本		236,428,200,172
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )		17,428,758,816
元本等合計		218,999,441,356
純資産合計		
		218,999,441,356
負債純資産合計		
		219,132,205,911

## (2)注記表

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	自 平成22年4月 1 日 至 平成22年9月30日
1 運用資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 株式、新株予約権証券及び投資証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価額のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。</p> <p>(2) 投資信託受益証券 基準価額で評価しております。</p> <p>(3) 先物取引 計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。</p> <p>(4) 外国為替予約取引 計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物相場の仲値で評価しております。</p>
2 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3 費用・収益の計上基準	<p>(1) 受取配当金の計上基準</p> <p>(1) 株式及び投資証券 受取配当金は、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p> <p>(2) 投資信託受益証券 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の売買が行われる日において、当該収益分配金額を計上しております。</p> <p>(2) 配当株式の計上基準 配当株式は原則として、配当株式に伴う源泉税等の費用が確定した段階で、株式の配当落ち日に計上した数量に相当する券面額又は発行価額を計上しております。</p> <p>(3) 有価証券売買等損益、派生商品取引等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。</p>

## (貸借対照表に関する注記)

	平成22年9月30日現在
1 元本の欠損の額	17,428,758,816 円
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1 口当たり純資産額	0.9263 円
(10,000口当たり純資産額)	9,263 円)

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

平成22年9月30日現在

- 1 貸借対照表計上額、時価及び差額  
貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額は  
ありません。
- 2 時価の算定方法  
株式、新株予約権証券、投資信託受益証券及び投資証券  
(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。  
派生商品評価勘定
  - 1 先物取引  
(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。
  - 2 為替予約取引
    - 1) 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価してありま  
す。  
計算期間末日において為替予約の受渡日(以下「当該日」といいます)の対顧客先物相場の仲値が発  
表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。  
計算期間末日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっ  
ております。
      - ・ 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、当該日に最も近い前後  
二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
      - ・ 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発  
表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
    - 2) 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客相場  
の仲値で評価しております。  
コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務  
これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価と  
してあります。
- 3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明  
金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含ま  
れております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によ  
った場合、当該価額が異なることもあります。  
また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または  
計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引の市場リスクの大きさを示すものではありません。

## (その他の注記)

平成22年9月30日現在

1 元本の移動及び期末元本額の内訳	
期首	平成22年4月 1 日
期首元本額	226,576,472,508 円
期首より平成22年9月30日までの期中追加設定元本額	34,866,978,527 円
期首より平成22年9月30日までの期中一部解約元本額	25,015,250,863 円
期末元本額	236,428,200,172 円
期末元本額の内訳*	
野村外国株式インデックスファンド	541,032,882 円
野村世界6資産分散投信(安定コース)	8,022,106,499 円
野村世界6資産分散投信(分配コース)	56,256,056,473 円
野村世界6資産分散投信(成長コース)	18,000,218,644 円
野村資産設計ファンド2015	367,800,975 円
野村資産設計ファンド2020	165,973,631 円
野村資産設計ファンド2025	169,114,526 円
野村資産設計ファンド2030	141,934,674 円
野村資産設計ファンド2035	107,682,206 円
野村資産設計ファンド2040	455,292,332 円
野村外国株インデックス(野村投資一任口座向け)	244,866,643 円
のむらップ・ファンド(保守型)	294,154 円
のむらップ・ファンド(普通型)	7,260,733 円
のむらップ・ファンド(積極型)	6,871,260 円
野村資産設計ファンド2045	597,040 円
グローバル・インデックス・バランス25VA(適格機関投資家専用)	10,260,042,528 円
グローバル・インデックス・バランス50VA(適格機関投資家専用)	1,724,325,937 円
グローバル・インデックス・バランス40VA(適格機関投資家専用)	37,748,545,949 円
グローバル・インデックス・バランス60VA(適格機関投資家専用)	17,376,786,075 円
ワールド・インデックス・ファンドVA安定型(適格機関投資家専用)	21,053,631 円
ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型(適格機関投資家専用)	97,054,968 円
ワールド・インデックス・ファンドVA積極型(適格機関投資家専用)	91,794,287 円
野村ワールド・インデックス・バランス35VA(適格機関投資家専用)	361,528,102 円
野村ワールド・インデックス・バランス50VA(適格機関投資家専用)	4,080,806,034 円
野村外国株インデックスファンド(適格機関投資家専用)	1,201,021,190 円
野村世界インデックス・バランス40VA(適格機関投資家専用)	1,082,616,838 円
野村グローバル・インデックス・バランス25VA(適格機関投資家専用)	110,806,947 円
野村グローバル・インデックス・バランス50VA(適格機関投資家専用)	690,628,577 円
野村グローバル・インデックス・バランス75VA(適格機関投資家専用)	11,309,619,910 円
野村世界バランス25VA(適格機関投資家専用)	1,572,962,866 円
野村外国株式インデックスファンド・MSCI-KOKUSA I(確定拠出年金向け)	47,069,527,892 円
マイバランス30(確定拠出年金向け)	1,436,123,123 円
マイバランス50(確定拠出年金向け)	5,234,531,538 円
マイバランス70(確定拠出年金向け)	6,202,309,253 円
マイバランスDC30	328,944,178 円
マイバランスDC50	580,039,262 円
マイバランスDC70	369,786,119 円
野村DC外国株式インデックスファンド・MSCI-KOKUSA I	2,990,242,296 円

\*当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

3 「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」の状況  
以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

## (1)貸借対照表

科目	対象年月日	平成22年9月30日現在 金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		3,893,255,063
国債証券		170,148,249,890
地方債証券		16,064,197,576
特殊債券		23,077,190,347
社債券		18,859,436,000
未収入金		2,223,153,000
未収利息		468,616,954
前払費用		11,013,519
流動資産合計		234,745,112,349
資産合計		
		234,745,112,349
負債の部		
流動負債		
未払金		5,412,498,000
未払解約金		96,901,863
流動負債合計		5,509,399,863
負債合計		
		5,509,399,863
純資産の部		
元本等		
元本		200,281,910,634
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )		28,953,801,852
元本等合計		229,235,712,486
純資産合計		
		229,235,712,486
負債純資産合計		
		234,745,112,349

## (2)注記表

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	自 平成22年4月 1 日 至 平成22年9月30日
1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価して おります。
2 費用・収益の計上基準	(1) 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。

## (貸借対照表に関する注記)

	平成22年9月30日現在
1 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	1.1446 円
(10,000口当たり純資産額)	11,446 円)

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

平成22年9月30日現在

- 1 貸借対照表計上額、時価及び差額  
貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額は  
ありません。
- 2 時価の算定方法  
国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券  
(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。  
コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務  
これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価と  
しております。
- 3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明  
金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含ま  
れております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に  
よった場合、当該価額が異なることもあります。

## (その他の注記)

平成22年9月30日現在

1 元本の移動及び期末元本額の内訳	
期首	平成22年4月 1 日
期首元本額	204,814,671,203 円
期首より平成22年9月30日までの期中追加設定元本額	24,154,650,485 円
期首より平成22年9月30日までの期中一部解約元本額	28,687,411,054 円
期末元本額	200,281,910,634 円
期末元本額の内訳*	
野村国内債券インデックスファンド	288,751,754 円
野村世界6資産分散投信(安定コース)	23,771,991,548 円
野村世界6資産分散投信(分配コース)	55,567,873,532 円
野村世界6資産分散投信(成長コース)	3,810,016,250 円
野村資産設計ファンド2015	1,178,984,528 円
野村資産設計ファンド2020	309,605,103 円
野村資産設計ファンド2025	200,780,620 円
野村資産設計ファンド2030	120,860,745 円
野村資産設計ファンド2035	57,529,102 円
野村資産設計ファンド2040	186,555,297 円
野村日本債券インデックスファンド	8,740,386,542 円
野村日本債券インデックス(野村投資一任口座向け)	926,166,711 円
のむらっぴ・ファンド(保守型)	1,547,230 円
のむらっぴ・ファンド(普通型)	3,494,987 円
のむらっぴ・ファンド(積極型)	836,029 円
野村日本債券インデックス(野村SMA向け)	289,318,705 円
野村資産設計ファンド2045	192,985 円
グローバル・インデックス・バランス25VA(適格機関投資家専用)	9,121,076,087 円
グローバル・インデックス・バランス50VA(適格機関投資家専用)	510,981,483 円
グローバル・インデックス・バランス40VA(適格機関投資家専用)	23,209,464,920 円
グローバル・インデックス・バランス60VA(適格機関投資家専用)	3,846,243,509 円
ワールド・インデックス・ファンドVA安定型(適格機関投資家専用)	57,190,559 円
ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型(適格機関投資家専用)	52,292,675 円
ワールド・インデックス・ファンドVA積極型(適格機関投資家専用)	12,364,563 円
野村インデックス・バランス60VA(適格機関投資家専用)	10,275,084,624 円
野村ワールド・インデックス・バランス35VA(適格機関投資家専用)	535,670,543 円
野村ワールド・インデックス・バランス50VA(適格機関投資家専用)	3,023,233,395 円
野村世界インデックス・バランス40VA(適格機関投資家専用)	2,138,744,294 円
野村グローバル・インデックス・バランス25VA(適格機関投資家専用)	328,361,958 円
野村グローバル・インデックス・バランス50VA(適格機関投資家専用)	511,646,825 円
野村グローバル・インデックス・バランス75VA(適格機関投資家専用)	1,047,330,192 円
野村世界バランス25VA(適格機関投資家専用)	2,330,276,782 円
ノムラ日本債券インデックスファンドVA(適格機関投資家専用)	401,614,132 円
マイバランス30(確定拠出年金向け)	6,036,942,317 円
マイバランス50(確定拠出年金向け)	8,013,345,474 円
マイバランス70(確定拠出年金向け)	3,876,607,053 円
野村国内債券インデックスファンド・NOMURA-BPI総合 (確定拠出年金向け)	24,801,429,384 円
マイバランスDC30	1,466,159,672 円

マイバランスDC50	940,404,761 円
マイバランスDC70	237,182,055 円
野村DC国内債券インデックスファンド・NOMURA-BPI総合	2,053,371,709 円

\*当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

4 「外国債券マザーファンド」の状況  
以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

## (1)貸借対照表

科目	対象年月日	平成22年9月30日現在 金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金		363,698,608
コール・ローン		406,120,136
国債証券		319,273,285,760
派生商品評価勘定		948,780
未収入金		107,776,150
未収利息		4,180,776,829
前払費用		190,730,959
流動資産合計		324,523,337,222
資産合計		
		324,523,337,222
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		586,240
未払解約金		73,583,522
その他未払費用		2,873,800
流動負債合計		77,043,562
負債合計		
		77,043,562
純資産の部		
元本等		
元本		218,626,621,032
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )		105,819,672,628
元本等合計		324,446,293,660
純資産合計		
		324,446,293,660
負債純資産合計		
		324,523,337,222

## (2)注記表

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	自 平成22年4月 1 日 至 平成22年9月30日
1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 国債証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。 (2) 外国為替予約取引 計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物相場の仲値で評価しております。
2 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3 費用・収益の計上基準	(1) 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。

## (貸借対照表に関する注記)

平成22年9月30日現在	
1 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	1,4840 円
(10,000口当たり純資産額)	14,840 円)

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

平成22年9月30日現在	
1 貸借対照表計上額、時価及び差額	
貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額は ありません。	
2 時価の算定方法	
国債証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。	
派生商品評価勘定 為替予約取引	
1) 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価して おります。	
計算期間末日において為替予約の受渡日(以下「当該日」といいます)の対顧客先物相場の仲値が 発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。	
計算期間末日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によ つております。	
・ 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、当該日に最も近い前後 二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートをを用いております。	
・ 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い 発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。	
2) 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客相 場の仲値で評価しております。	
コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務	
これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価と してしております。	
3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	
金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が 含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等 によった場合、当該価額が異なることもあります。	
また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または 計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引の市場リスクの大きさを示すものではありません。	

## (その他の注記)

平成22年9月30日現在

1 元本の移動及び期末元本額の内訳	
期首	平成22年4月 1 日
期首元本額	217,863,718,044 円
期首より平成22年9月30日までの期中追加設定元本額	12,808,014,791 円
期首より平成22年9月30日までの期中一部解約元本額	12,045,111,803 円
期末元本額	218,626,621,032 円
期末元本額の内訳*	
バランスセレクト30	137,197,136 円
バランスセレクト50	137,761,168 円
バランスセレクト70	69,949,391 円
野村外国債券インデックスファンド	263,793,366 円
野村世界6資産分散投信(安定コース)	3,135,664,189 円
野村世界6資産分散投信(分配コース)	109,985,245,874 円
野村世界6資産分散投信(成長コース)	3,015,277,992 円
野村資産設計ファンド2015	261,328,782 円
野村資産設計ファンド2020	88,242,926 円
野村資産設計ファンド2025	80,069,751 円
野村資産設計ファンド2030	60,282,560 円
野村資産設計ファンド2035	38,259,354 円
野村資産設計ファンド2040	124,067,430 円
野村外国債券インデックス(野村投資一任口座向け)	529,555,293 円
のむらップ・ファンド(保守型)	893,550 円
のむらップ・ファンド(普通型)	4,980,063 円
のむらップ・ファンド(積極型)	2,450,213 円
野村外国債券インデックス(野村SMA向け)	681,665 円
野村資産設計ファンド2045	128,269 円
野村外国債券インデックスファンドVA(適格機関投資家専用)	184,587,169 円
グローバル・インデックス・バランス25VA(適格機関投資家専用)	28,885,306,970 円
グローバル・インデックス・バランス50VA(適格機関投資家専用)	1,617,262,559 円
グローバル・インデックス・バランス40VA(適格機関投資家専用)	25,726,539,946 円
グローバル・インデックス・バランス60VA(適格機関投資家専用)	5,075,441,163 円
ワールド・インデックス・ファンドVA安定型(適格機関投資家専用)	12,341,501 円
ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型(適格機関投資家専用)	62,065,077 円
ワールド・インデックス・ファンドVA積極型(適格機関投資家専用)	9,783,494 円
野村インデックス・バランス60VA(適格機関投資家専用)	13,550,304,886 円
野村ワールド・インデックス・バランス35VA(適格機関投資家専用)	953,664,637 円
野村ワールド・インデックス・バランス50VA(適格機関投資家専用)	3,588,215,947 円
野村世界インデックス・バランス40VA(適格機関投資家専用)	634,982,971 円
野村グローバル・インデックス・バランス25VA(適格機関投資家専用)	227,340,006 円
野村グローバル・インデックス・バランス50VA(適格機関投資家専用)	404,842,034 円
野村グローバル・インデックス・バランス75VA(適格機関投資家専用)	3,314,815,564 円
野村世界バランス25VA(適格機関投資家専用)	1,843,356,613 円
ノムラ外国債券インデックスファンドVA(適格機関投資家専用)	805,731,713 円
バランスセレクト30(確定拠出年金向け)	2,745,048 円
バランスセレクト50(確定拠出年金向け)	6,217,809 円
バランスセレクト70(確定拠出年金向け)	4,005,232 円
野村外国債券パッシブファンド(確定拠出年金向け)	380,542,155 円
マイバランス30(確定拠出年金向け)	1,281,047,071 円
マイバランス50(確定拠出年金向け)	1,544,916,242 円
マイバランス70(確定拠出年金向け)	1,480,384,699 円
野村外国債券インデックスファンド(確定拠出年金向け)	7,835,145,928 円
マイバランスDC30	308,778,804 円
マイバランスDC50	181,384,121 円
マイバランスDC70	91,227,755 円
野村DC外国債券インデックスファンド	677,814,946 円

\*当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

## 2 ファンドの現況

原届出書の 第三部 ファンドの詳細情報 第4 ファンドの経理状況 2 ファンドの現況 につきまして は、以下の内容に更新・訂正されます。

## &lt;更新・訂正後&gt;

## 純資産額計算書

平成22年10月29日現在

資産総額	12,676,414,571	円
負債総額	5,340,212	円
純資産総額( - )	12,671,074,359	円
発行済口数	10,988,594,569	口
1口当たり純資産額( / )	1.1531	円

## &lt;ご参考&gt;

## 「国内株式マザーファンド」

資産総額	164,343,066,222	円
負債総額	22,645,725,683	円
純資産総額( - )	141,697,340,539	円
発行済口数	210,527,660,941	口
1口当たり純資産額( / )	0.6731	円

## 「外国株式MSCI-KOKUSA1マザーファンド」

資産総額	210,085,081,157	円
負債総額	486,116,213	円
純資産総額( - )	209,598,964,944	円
発行済口数	226,450,314,859	口
1口当たり純資産額( / )	0.9256	円

## 「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」

資産総額	235,219,767,553	円
負債総額	935,742,047	円
純資産総額( - )	234,284,025,506	円
発行済口数	205,374,494,858	口
1口当たり純資産額( / )	1.1408	円

## 「外国債券マザーファンド」

資産総額	315,032,410,379	円
負債総額	417,688,130	円
純資産総額( - )	314,614,722,249	円
発行済口数	218,753,053,288	口
1口当たり純資産額( / )	1.4382	円

## 第5【設定及び解約の実績】

原届出書の 第三部 ファンドの詳細情報 第5 設定及び解約の実績 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

## &lt;更新・訂正後&gt;

期	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1期	315,638,805	1,898,217	313,740,588
第2期	1,603,724,872	79,613,051	1,837,852,409
第3期	1,680,987,488	185,665,058	3,333,174,839
第4期	1,729,379,727	615,845,733	4,446,708,833
第5期	1,683,830,293	775,982,050	5,354,557,076
第6期	2,516,048,738	780,767,928	7,089,837,886
第7期	2,530,574,837	761,069,757	8,859,342,966
第8期	2,020,574,298	677,389,463	10,202,527,801
第9期(中間期)	1,023,900,457	353,491,459	10,872,936,799

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

## 第四部【特別情報】

### 第1【委託会社等の概況】

#### 1 委託会社等の概況

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部\_\_\_\_\_は訂正部分を示します。

##### <訂正前>

##### (1) 資本金の額

平成22年5月末現在、17,180百万円

(以下略)

##### <訂正後>

##### (1) 資本金の額

平成22年11月末現在、17,180百万円

(以下略)

#### 2 事業の内容及び営業の概況

原届出書の 第四部 特別情報 第1 委託会社等の概況 2 事業の内容及び営業の概況 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

##### <更新・訂正後>

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業に係る業務の一部及び投資助言業務を行っています。

委託者の運用する証券投資信託は平成22年10月29日現在次の通りです(ただし、親投資信託を除きます。)

種類	本数	純資産総額(百万円)
追加型株式投資信託	681	9,944,831
単位型株式投資信託	23	236,535
追加型公社債投資信託	19	4,658,382
単位型公社債投資信託	0	0
合計	723	14,839,748

#### 3 委託会社等の経理状況

原届出書の 第四部 特別情報 第1 委託会社等の概況 3 委託会社等の経理状況 の該当部分を以下の内容に更新・訂正します。

##### <更新・訂正後>

[次へ](#)**第2【その他の関係法人の概況】**

## 1 名称、資本金の額及び事業の内容

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部\_\_\_\_\_は訂正部分を示します。

**<訂正前>**

## (1) 受託者

(a)名称	(b)資本金の額 <sup>*</sup>	(c)事業の内容
野村信託銀行株式会社	30,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

\* 平成22年4月末現在

## (2) 販売会社

(a)名称	(b)資本金の額 <sup>*</sup>	(c)事業の内容
野村證券株式会社	10,000百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

\* 平成22年4月末現在

**<訂正後>**

## (1) 受託者

(a)名称	(b)資本金の額 <sup>*</sup>	(c)事業の内容
野村信託銀行株式会社	30,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

\* 平成22年10月末現在

## (2) 販売会社

(a)名称	(b)資本金の額 <sup>*</sup>	(c)事業の内容
野村證券株式会社	10,000百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

\* 平成22年10月末現在

## 独立監査人の監査報告書

平成21年6月22日

野村アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 英 公 一指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊藤志保

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第50期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の平成21年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

## 独立監査人の監査報告書

平成22年6月21日

野村アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 英 公 一指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊藤 志 保

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第51期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の平成22年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

[次へ](#)

## 独立監査人の中間監査報告書

平成22年11月24日

野村アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	英 公 一
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	亀 井 純 子
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊 藤 志 保

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの第52期事業年度の中間会計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書及び中間株主資本等変動計算書について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の平成22年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 上記は、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。



## 独立監査人の中間監査報告書

平成21年11月16日

野村アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

## 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 英 公 一指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊藤 志保

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているマイバランス30（確定拠出年金向け）の平成21年4月1日から平成21年9月30日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、マイバランス30（確定拠出年金向け）の平成21年9月30日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 中間財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

## 独立監査人の中間監査報告書

平成22年11月16日

野村アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

## 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 英 公 一指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊藤 志保

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているマイバランス30（確定拠出年金向け）の平成22年4月1日から平成22年9月30日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、マイバランス30（確定拠出年金向け）の平成22年9月30日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 中間財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)